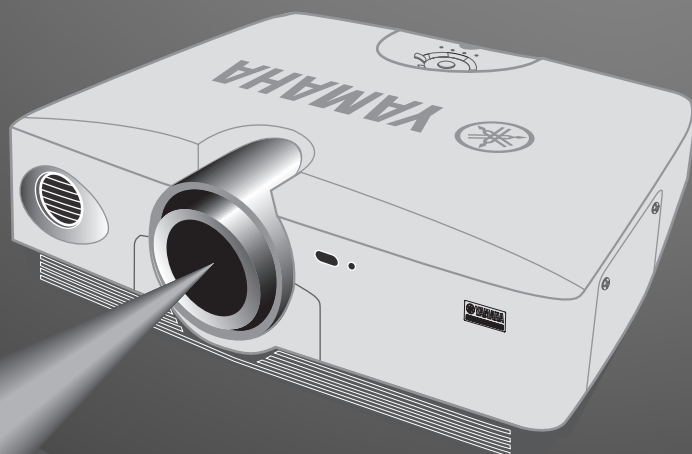


DPX-1300

デジタル シネマ プロジェクター

取扱説明書



ヤマハデジタルシネマプロジェクターDPX1300をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源/電源コード



電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

必ず実行



下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。 ● 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
 - ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
 - 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。

本機は100~120V/220~240Vの電源電圧で使用できますが、国内では100Vで使用してください。それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。ランプとフィルターの交換時を除きキャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかる場所

水の混入により、火災や感電の原因になります。



放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 仰向け(天吊設置を除く)や横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右 30 cm、上 30 cm、背面 30 cm以上のスペースを確保する。)
- 本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



本機を不安定なところには設置しない。

本機の転倒や落下により、ランプが破裂して、けがの原因になります。



必ず実行

電源プラグを電源に接続する前に、アース接続する。
アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離す。

機器が故障したり、感電したりするおそれがあります。

使用上の注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



禁止

ランプの点灯中は、決して光源レンズをのぞかない。
強い光によって視覚障害などの原因になります。



注意

本機に使われている水銀ランプは、取り扱いを間違えると破裂するおそれがあります。

- ランプに衝撃や傷を与えない。
- ランプ交換時期を超えて使用しない。
- 本機を使用中はランプに顔を近づけない。

けがや中毒を起こす原因になります。
万一ランプが破裂した場合は、破裂時に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないようにご注意ください。すみやかに部屋の換気を行い、新しいランプの交換を販売店にご依頼ください。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。



必ず実行

プロジェクターを天吊りしている状態で、ランプを交換する場合は、天吊りユニットから外してから交換する。

ランプが破裂している場合、ガラス破片がこぼれ落ちて、けがの原因になります。また、天吊り状態が不安定になり、本機が落下して、けがの原因になることがあります。

注意

電源/電源コード



必ず実行

必ず付属の専用電源コードを使用する。

専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因になります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行



使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

必ず実行

設置



必ず2人以上で開梱や持ち運びをする。

重いので、けがの原因になります。

必ず実行



不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気が多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

必ず実行



天吊りなどの設置工事は、お買上げ店または専門の工事業者に依頼する。

工事は技術と経験が必要です。不十分な取付けは、本機が落下して、けがをする原因になります。お客さまによる工事は一切行わないでください。

必ず実行

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

プラグを抜く

使用上の注意



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



禁止

ランプを点灯した状態で、レンズキャップをつけたまま放置しない。

レンズ部に熱がこもり、故障の原因になります。



禁止

動作中や停止直後のランプには、手を触れない。

高熱により火傷の原因になります。



必ず実行

ランプカバーを開ける際は、ガラス破片に注意する。

ランプが破裂しているおそれがあります。



必ず実行

ランプは、充分冷えた状態で交換する。

高熱により火傷の原因になります。



必ず実行

ランプ交換時は、必ず専用の交換用ランプカートリッジPJL-427を使用する。

専用のランプカートリッジ以外は本機には使用できません。

手入れ



プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

目次

1 はじめに	2
設置時のご注意	2
付属品の確認	2
2 特長	3
3 各部の名称	4
4 リモコンについて	6
5 投影の前に～手順を確認しましょう～	10
6 プロジェクターとスクリーンの設置	12
プロジェクターの設置方法	12
スクリーンと投影距離について	13
投影する映像の位置について	14
7 接続	15
AV 機器との接続	15
コンピューター機器との接続	16
8 投影	17
設置・接続を確認する	17
プロジェクターの電源を入れる／待機状態にする ...	18
入力信号を選ぶ	20
画面の垂直位置やピントなどを調整する	25
9 メニュー	27
メニューの構成	27
メニューアイテム	28
メニューアイテムの操作	38
10 メモリー機能 (保存、呼出し、ロック、コピー、初期化)	48
11 リファレンス	55
用語解説	55
投影できる信号	56
メンテナンス	58
故障かなと思ったら	60
メッセージ	62
LED インジケーターの状態と原因	63
仕様	64
寸法図	65

はじめに	1
特長	2
各部の名称	3
リモコンについて	4
投影の前に	5
プロジェクターとスクリーンの設置	6
接続	7
投影	8
メニュー	9
メモリー機能	10
リファレンス	11

◆ 設置時のご注意

設置する環境・場所・仕方などによっては、本機の故障・破損・火災の原因となる場合があります。設置にあたっては次の事項に充分留意頂くようお願いいたします。

< 適切でない設置場所 >

1. 温度・湿度の高い場所

- ・ 温度や湿度が非常に高い場所や、著しく温度の低い場所での使用は避けてください。
- ・ 本機の使用温度範囲は5℃～35℃です。

2. 風通しが悪い場所

- ・ 本機を設置する場所は、周囲から30cm以上の間隔をあけてください。
- ・ 本機の吸気口、排気口をふさがらないでください。温度上昇の原因となります。
- ・ 柔らかいじゅうたんや布団の上には置かないでください。
- ・ テーブルクロスなどを掛けしないでください。
- ・ 本機の下に小さな紙などを置くと、吸気口に吸付いて温度上昇の原因となります。
- ・ 本機をラックなどに設置する場合は、排気により本機が高温にならないように、必ず強制空冷を行ってください。

3. ほこりの多い場所

- ・ フィルターが詰まりやすくなり、温度上昇の原因となります。

4. 振動や衝撃が加わる場所

- ・ 振動の伝わる場所や自動車などに設置すると、振動や衝撃により部品が損傷し故障の原因となります。

5. 水気のある場所

- ・ 水気のある場所での使用は、感電、火災の原因となります。

6. 不安定な場所

- ・ ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落下や転倒によりけがや故障の原因となります。

7. ラジオやテレビから近い所

- ・ 本機をラジオやテレビジョン受信機に接近して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。

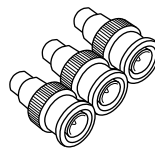
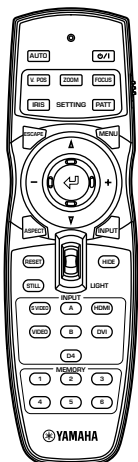
ご注意

- ・ スクリーンには、照明など本機以外からの光が直接入らないようにしてください。外光が入らないほど、コントラストのある美しい映像が得られます。

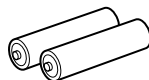
◆ 付属品の確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

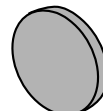
- ・ リモコン
- ・ プラグ変換アダプター
- ・ ピン/BNC変換アダプター
- ・ 電源コード



- ・ 単3乾電池



- ・ レンズキャップ



広いレンズ調整範囲と電動調整により設置の自由度が向上

短焦点レンズと高倍率ズーム、上下一画面分のフルレンズシフトにより、幅広い環境に設置することができます。さらに、レンズ周りの調整機能（フォーカス、ズーム、レンズシフト）はすべてリモコンによる操作が可能で、視聴位置からの調整が簡単に行えます。

DMD™ デバイス 720p DarkChip3™ 採用

720p DarkChip2™の改良型「720p DarkChip3™」を搭載することで黒レベルをさらに下げ、フィルムに肉迫するコントラストを再現しました。

色温度（白色）まで含めた7色独立調整と、自動カラーバランス計算機能

簡便な色温度調整に加え、WRGBYCMの7軸独立に色度値の座標やゲインの直接指定も可能なモードを用意しました。さらに色温度とRGBバランスの整合性をとるために、両方をひとつの統合された仕組みの中でコントロールすることが可能になりました。常に正しい値を確認しながら、整合性を保ちつつお好みの色設定ができるようになっています。

デジタルインターフェースでシャープかつ精細感のある映像を堪能する

これからの時代のスタンダードになるHDMI™端子を搭載しました。同じ端子をもつDVDプレーヤーやセットトップボックスなどからデジタルの映像データをダイレクトに受け、DLP™デジタル表示方式と組み合わせたのオールデジタル処理映像がお楽しみいただけます。コンテンツ保護機能の HDCP に対応しています。

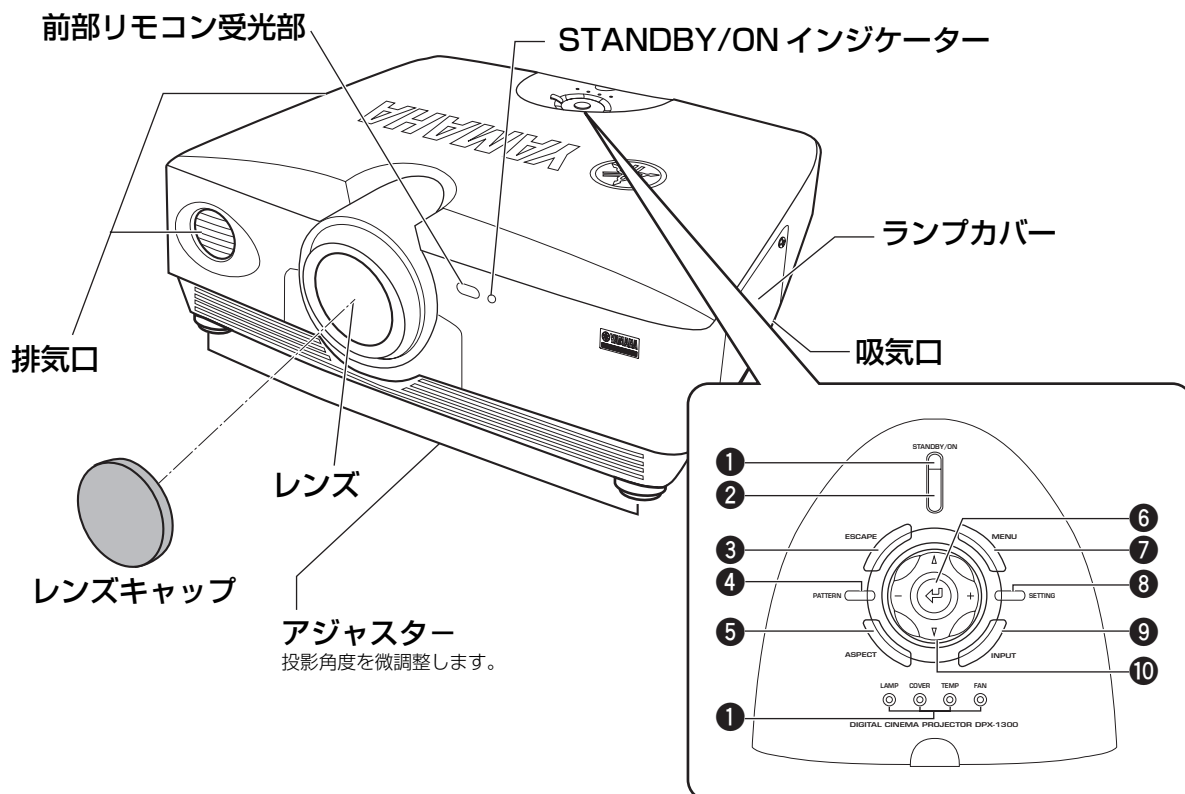
インテリジェントなメモリー機能

画質メモリーは各端子にまず6個。さらにひとつのメモリー番号に対し、入力解像度に応じて異なるパラメーターの保存が可能です。たとえば、DVD視聴時とHDTV視聴時とで異なる画質メニューアイテムの設定をした場合でも、メモリー番号を切り替えるという煩わしさがありません。

画質調整を容易にするインラインメニュー

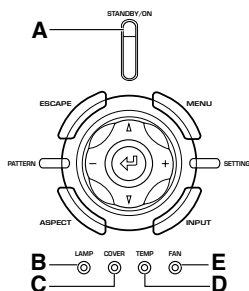
画質調整メニューアイテムへのアクセスを簡単なボタン操作で行うことができます。メニュー画面を開く必要がないので、画像のカスタマイズを投影中でも気軽に行うことが可能となりました。

◆ 本体〈前面とコントロール部〉



① LED インジケータ

本機には各種の状態を表示するために、5種類のLED インジケータがあります。それぞれのインジケータの状態については「LED インジケータの状態と原因」(P.63ページ)をご覧ください。



- A STANDBY/ON インジケータ
(本機前面にも表示LEDがあります)
- B LAMP 異常インジケータ
- C COVER 異常インジケータ
- D TEMP 異常インジケータ
- E FAN 異常インジケータ

② STANDBY/ON ボタン

スタンバイとオン(動作状態)を切替えます。

③ ESCAPE ボタン

サブメニューを終了します。

④ PATTERN ボタン

内蔵のテストパターンの投影をオン/オフします。

⑤ ASPECT ボタン

投影する映像の表示アスペクトのメニュー表示をオン/オフします。

⑥ (決定) ボタン

メニューが表示されている場合は、変更した数値を確定します。表示されていない場合は、インラインメニュー(画面投影中の画質の調整)を表示します。(P.47ページ)

⑦ MENU ボタン

各種設定や調整を行なうメニュー表示をオン/オフします。

⑧ SETTING ボタン

レンズに関連する調整モードを選択します。

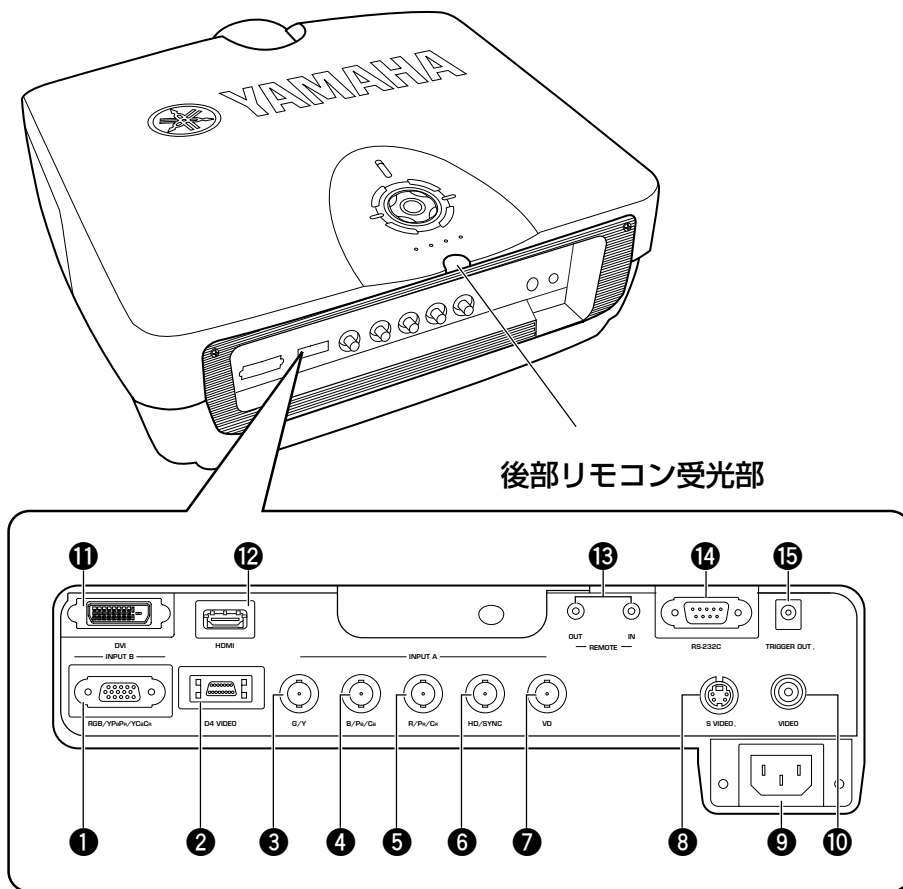
⑨ INPUT ボタン

入力端子と入力信号を選択するメニュー表示をオン/オフします。

⑩ カーソルボタン

△、▽、←、→の方向へカーソルを移動します。また、メニュー項目を選択したり、値を変更したりします。

◆ 本体 〈背面と接続部〉



後部リモコン受光部

① INPUT B (D-sub 15ピン)

インプット ディーサブ

コンポーネントビデオ信号およびRGB信号（RGB/YPrPb/YCbCr）を入力します。D-subモニターケーブルをご使用ください。

② D4 VIDEO (D端子)

ビデオ

AV機器のD端子からビデオ信号を入力します。D1～D4に対応しています。

③～⑦ INPUT A (BNC端子)

インプット

コンポーネントビデオ信号およびRGB信号を入力します。AV機器からのコンポーネント信号は③～⑤へ、コンピューター機器からのRGB信号は③～⑦へ入力します。接続にはBNCケーブルをご使用ください。

- ③ G/Y (G、輝度信号)
- ④ B/Pb/Cb (B、色差信号)
- ⑤ R/Pr/CR (R、色差信号)
- ⑥ HD/SYNC (水平同期信号、コンポジット同期信号)
- ⑦ VD (垂直同期信号)

⑧ S VIDEO (ミニ DIN 端子)

ビデオ

AV機器のSビデオ端子からSビデオ信号を入力します。Sビデオ用ケーブルをご使用ください。

⑨ 電源コード受口

付属の電源コードを差し込みます。

⑩ VIDEO (ピンジャック)

AV機器のビデオ端子からコンポジットビデオ信号を入力します。ビデオ用のピンケーブルをご使用ください。

⑪ DVI (DVI 端子)

AV機器やコンピューターからのRGB信号を入力します。DVIケーブルをご使用ください。

⑫ HDMI™ (HDMI™ 端子)

AV機器からHDMI™信号を入力します。

⑬ REMOTE IN/OUT 端子

リモコンとケーブルで接続する場合に、IN端子に接続します。OUT端子はIN端子に入力されたコード信号をそのまま出力します。

⑭ RS-232C (D-sub 9ピン)

サービス用の端子です。

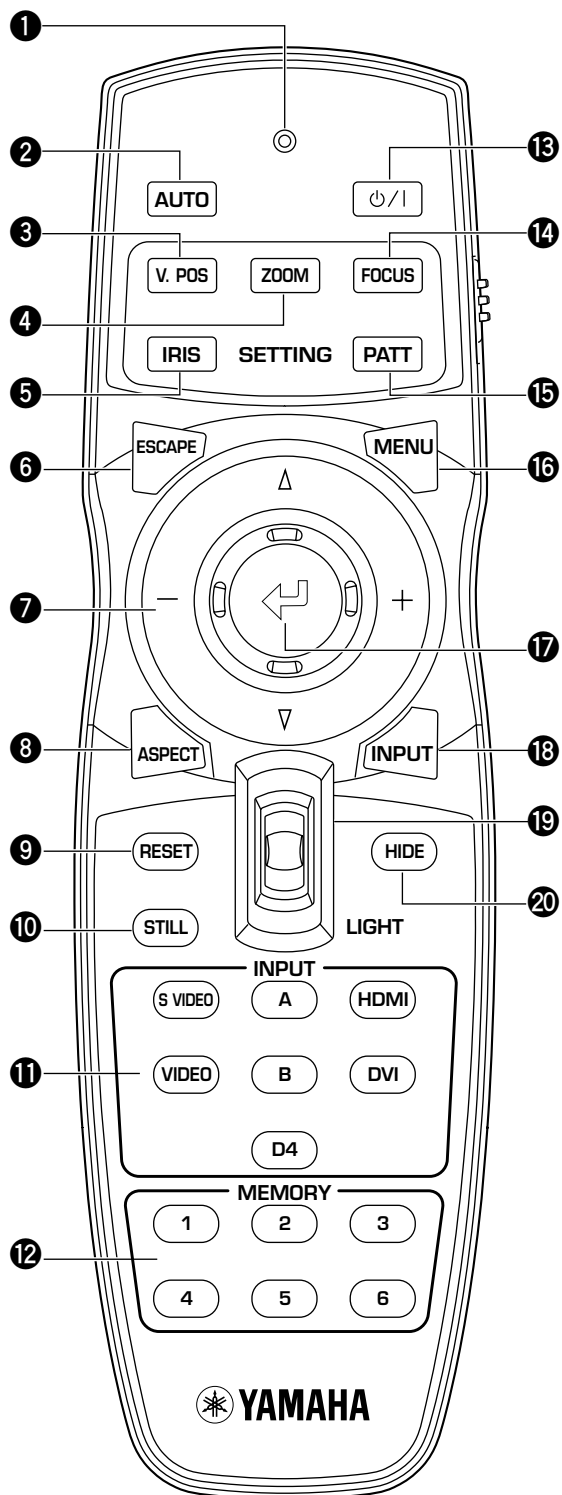
⑮ TRIGGER OUT

トリガー アウト

外部機器制御用の信号を出力します。投影時に+12V/最大200mAを出力します。

◆ 各ボタンの機能

リモコン（リモートコントロール）には本体と同じ名前のボタンがあります。これらのボタンは、本体と同じ働きをします。リモコンは、本体の前面あるいは後部の受光部に向けて、7m以内で操作してください。



- ① **Transmit インジケーター**
トランスミット
リモコン操作の赤外線信号を送信中に点灯します。
- ② **AUTO ボタン**
オート
信号の種類に応じた最適な設定を自動的に調整します。
- ③ **V. POS (Vertical Position) ボタン**
バーティカルポジション
投影された映像全体の垂直位置を調整するモードをオン/オフします。
- ④ **ZOOM ボタン**
ズーム
投影された映像のサイズを調整するモードをオン/オフします。
- ⑤ **IRIS ボタン**
アイリス
レンズの絞りを切り替えるモードをオン/オフします。
- ⑥ **ESCAPE ボタン**
エスケープ
サブメニューを終了します。
- ⑦ **カーソルボタン**
アスペクト
△、▽、←、→の方向へカーソルを移動します。
- ⑧ **ASPECT ボタン**
投影する映像の表示アスペクトを設定するメニュー表示をオン/オフします。
- ⑨ **RESET ボタン**
リセット
メニューの各種パラメーター調整時に押すと、選択しているパラメーターが初期値にリセットされます。
- ⑩ **STILL ボタン**
スチール
投影している映像を一時停止します。解除するには、もう一度押します。
- ⑪ **INPUT エリア**
インプット
使用する入力端子をワンタッチ操作で切り替えます。
- ⑫ **MEMORY エリア**
メモリー
記憶しているメニュー設定のメモリーを呼び出します。
- ⑬ **⏻/⏻ ボタン**
スタンバイとオン（動作状態）を切り替えます。
- ⑭ **ボタン**
投影された映像の焦点を調整するモードをオン/オフします。
- ⑮ **(Pattern) ボタン**
内蔵のテストパターンの投影をオン/オフします。

⑯ MENU ボタン

メニュー

各種設定や調整を行なうメニュー表示をオン/オフします。

⑰ ◀ (決定) ボタン

メニューが表示されている場合は、変更した数値を確定します。表示されていない場合は、インラインメニュー（画面投影中の画質の調整）を表示します。（☞ 47 ページ）

⑱ INPUT ボタン

入力端子（入力信号）を選択するメニュー表示をオン/オフします。

⑲ LIGHT スイッチ

ライト

スイッチを上下に動かすと、使用頻度の高いAUTO ボタン（②）、ESCAPE ボタン（⑥）、ASPECT ボタン（⑧）、 \circ/\square ボタン（⑬）、MENU ボタン（⑯）、INPUT ボタン（⑱）が点灯します。10 秒間ボタン操作がないと消灯します。

⑳ HIDE ボタン

ハイド

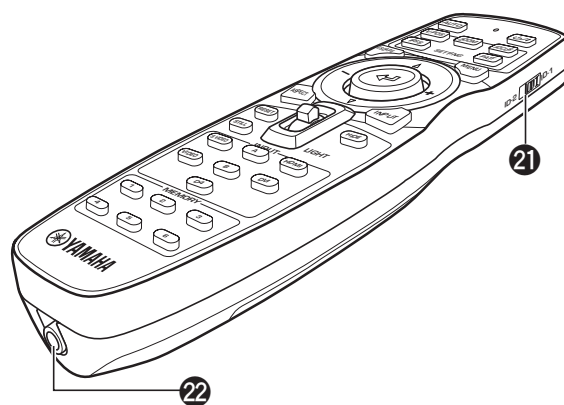
投影している映像を一時的に消します。解除するには、もう一度押します。

㉑ リモコンコード切替スイッチ

1 つのリモコンで本体を 2 台使用する場合に、操作する本体（ID-1 または ID-2）を切り替えます。本体側の初期設定は ID-1 に設定されています。

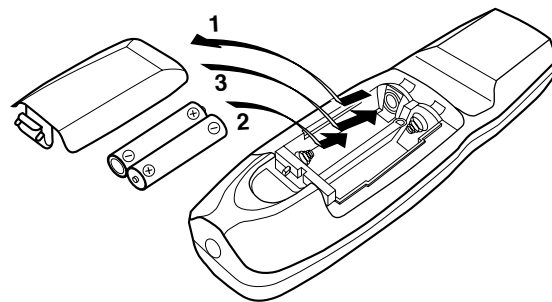
㉒ リモートケーブル端子

本体のREMOTE IN端子とケーブルで接続して、ワイヤードリモコンとして使用します。（☞ 8 ページ）



◆乾電池の入れ方

1. リモコンの裏のふたをはずします。
2. 単3乾電池を2個、プラスとマイナスの向きを確認して、表示どおりに正しく入れてください。
3. 乾電池をセットしたら、カチッと音がするまでふたを閉めます。

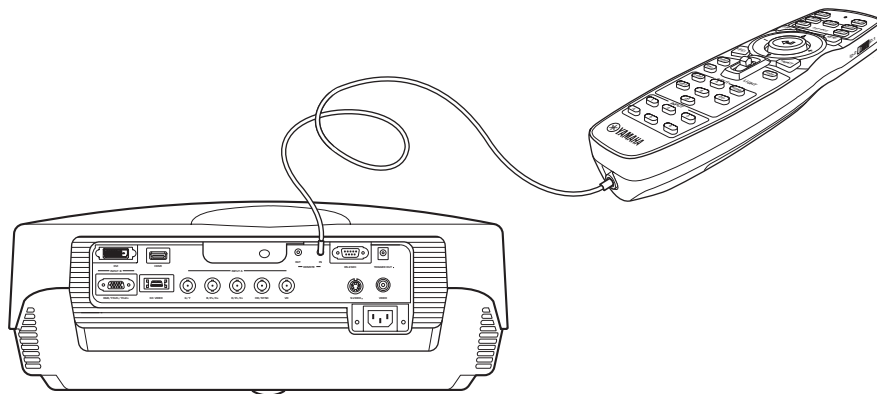


ご注意

- ・ 操作距離が短くなったり、操作が不確実になってきたら、乾電池を新しいものと交換してください。
- ・ 新旧または異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 長期間使わないときは、乾電池は取り出しておいてください。
- ・ 乾電池が液漏れした場合は、液に触れないよう注意して廃棄してください。液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。

◆ワイヤードリモコンとしての使い方

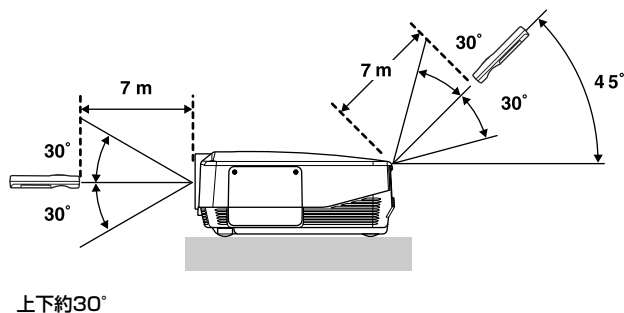
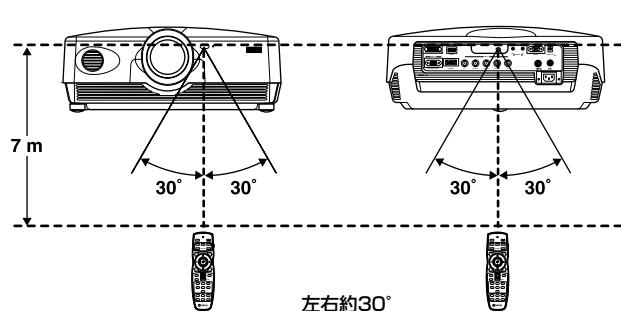
2Pモノラルのミニプラグケーブル（市販）で、リモコン下部のリモートケーブル端子と本体接続部のREMOTE IN端子をつなぐと、ワイヤードリモコンとしてお使いになれます。ワイヤードリモコンにすることで、リモコンの操作範囲を気にすることなく確実な操作を行うことができます。



◆ リモコンの操作範囲

リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離と角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作ができなくなります。

操作可能範囲	操作可能範囲
約7m	上下左右各約30°



ご注意

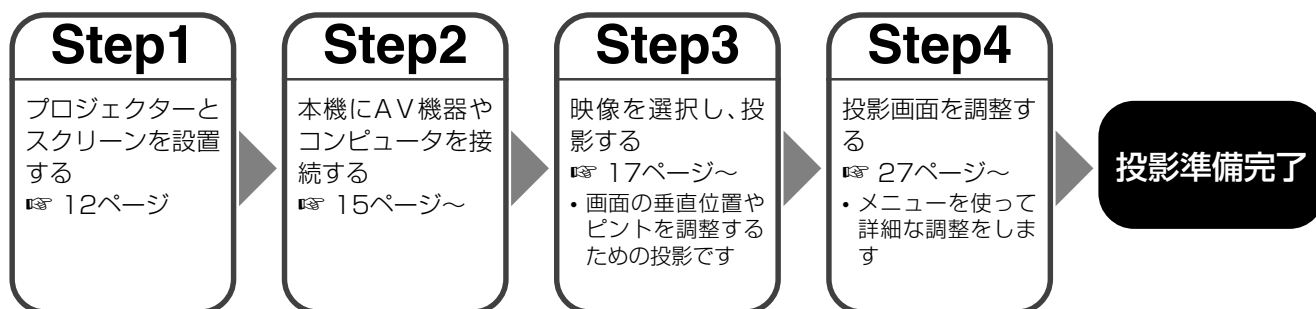
- 本体リモコン受光部に蛍光灯の光や、明るい光などが当たっていると正常に動作しないことがあります。
- 本体リモコン受光部とリモコンとの間に障害物等があると、信号がさえぎられると、正常に動作しないことがあります。
- 上記の数値は概略値です。

5 投影の前に ~手順を確認しましょう~

本プロジェクターをご使用になるには、プロジェクターとスクリーンの設置、入力元となるAV機器やコンピュータとの接続、および投影画面の調整が必要です。設置や調整が完了している場合はすぐに投影が始められます。ご使用になる状況に応じて、該当する箇所をご覧ください。

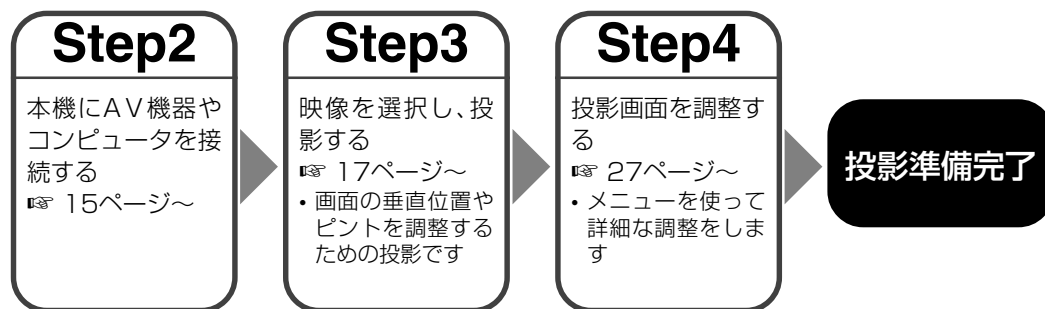
◆ 本機やスクリーンが未設置

- 購入直後で、本機やスクリーンが未設置のとき
- 今までに使用していた場所とは違う場所に、本機やスクリーンを設置してご使用になるとき



◆ 本機やスクリーンは設置済みで、映像機器が未接続

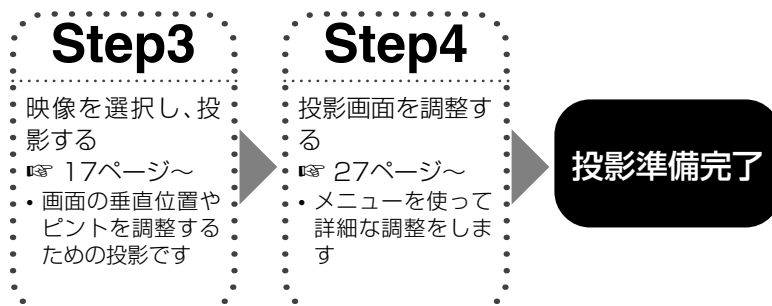
- 本機やスクリーンは設置済みで、入力元となる映像機器が未接続のとき
- 本機の設置場所を変えず、入力元となる映像機器だけを変えて本機をご使用になるとき



◆ 本機やスクリーンは設置済みで、映像機器も接続済み


- 本機やスクリーンは設置済みで、入力元となる映像機器も接続済みのとき
- 本機の設置場所を変えず、同じ映像機器をご使用になるとき

投影画面の調整が不要の場合は、Step3・Step4を行う必要はありません。うまく投影できないときは、接続が外れていることが考えられます。この場合はStep2から行ってください。




Step1

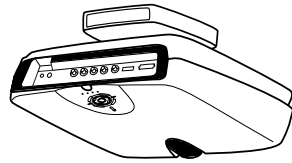
プロジェクターとスクリーンの設置

- ・プロジェクターを設置する
- ・スクリーンを設置する  12ページ

Step2


AV機器やコンピューターと接続する

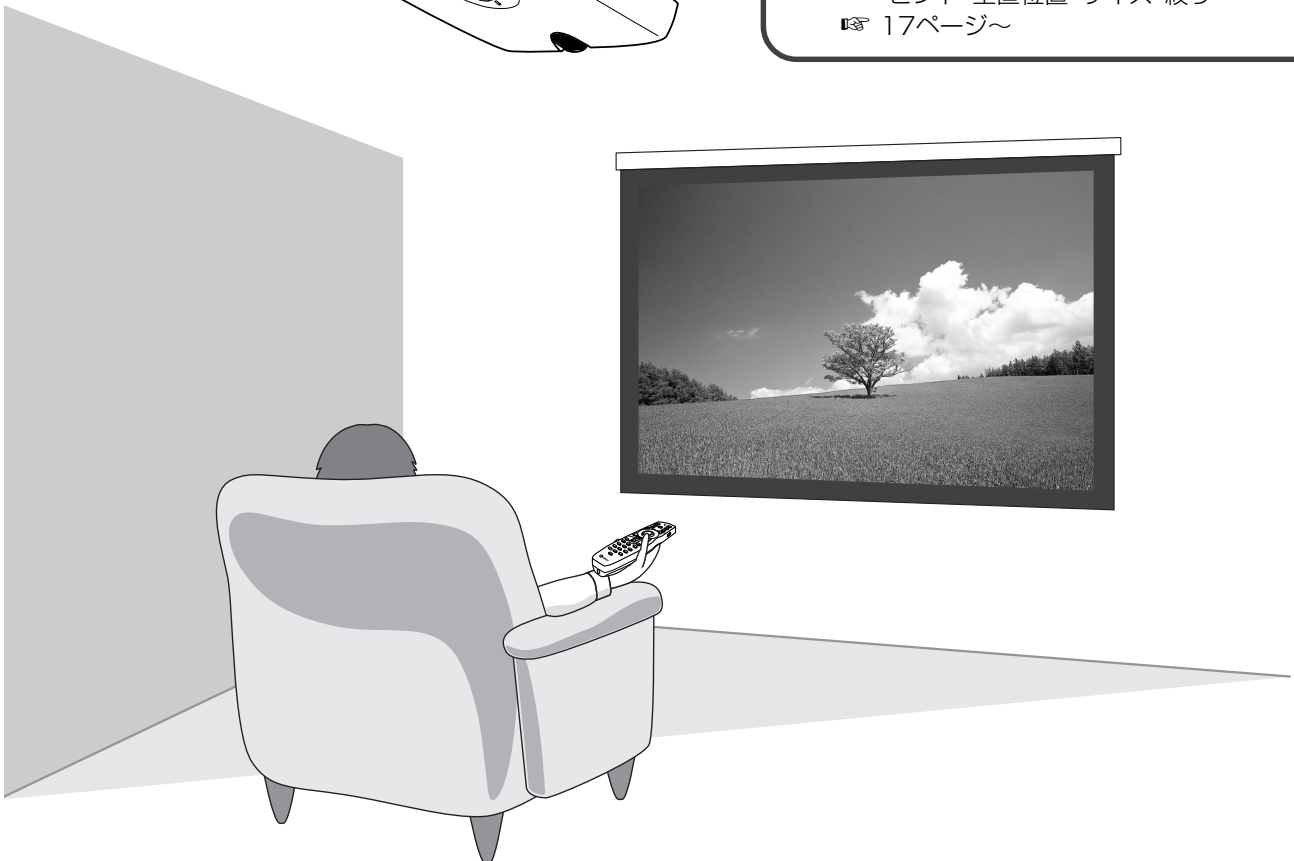
- ・AV機器と接続する
- ・コンピューターと接続する  15ページ～




Step3

プロジェクターの電源投入と投影する映像の選択

- ・プロジェクターの電源を入れる
- ・入力映像の再生開始
- ・入力信号を選ぶ
- ・投影画面アスペクトを選ぶ
- ・画面の調整をする
ピント・垂直位置・サイズ・絞り  17ページ～



Step4 メニューによる画質の調整や各種設定

- ・画質の調整: 画質を詳細に設定します。
- ・信号の設定: 入力信号を詳細に設定します。
- ・初期設定: 通常の使用状態を設定します。
- ・設置状態の設定: 設置方法に合わせて設定します。  27ページ～

これらの項目は、設置位置や視聴環境を変更した場合など、必要に応じて設定してください。

6 プロジェクターとスクリーンの設置

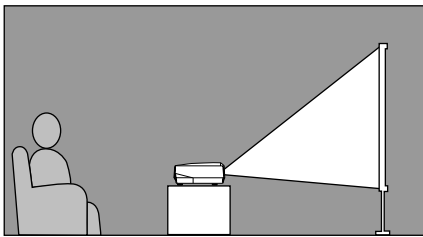
プロジェクターの設置方法

本機の設置方法は以下のとおりです。

設置方法	投影方法
卓上置き	A：スクリーンの正面から投影する
	B：半透過性スクリーンの裏面から投影する
天井吊り	C：スクリーンの正面から投影する
	D：半透過性スクリーンの裏面から投影する

◆ 卓上置き設置

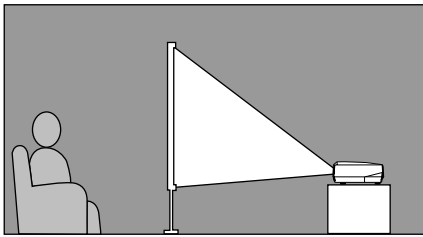
A：スクリーンの正面から投影する



本機を卓上に設置し、スクリーンに正面から投影する方法です。通常、本機は高さのある台の上に設置します。

本機の底面からレンズの中心までの距離は 12.4cm です。

B：スクリーンの裏面から投影する（半透過性スクリーンを使用）



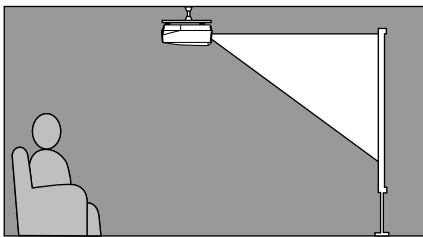
本機を卓上に設置し、半透過性スクリーンに裏面から投影する方法です。投影距離やスクリーンとの関係は、「A：スクリーンの正面から投影する」の場合に準じます。

・ 設定：メニュー画面の〔設置〕→〔設置状態〕→〔リア/テーブル〕（☞ 27 ページ～）

◆ 天井吊り設置

天井吊りにする場合は、専用の天吊金具が 2 種類（別売り：PMT-L31、PMT-H35）用意されています。仕様についてはお買上げ店にご相談ください。設置工事は必ずお買上げ店、または信頼のできる専門の工事業者へ依頼してください。

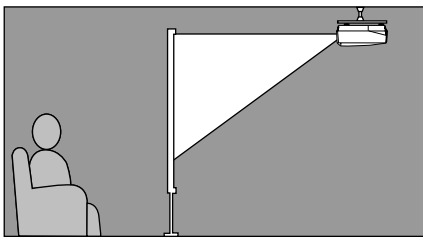
C：スクリーンの正面から投影する



本機を天井吊りに設置し、スクリーンの正面から投影する方法です。スクリーンとの関係は、「A：スクリーンの正面から投影する」の場合を上下反転した状態となります。

・ 設定：メニュー画面の〔設置〕→〔設置状態〕→〔フロント/天井吊り〕（☞ 27 ページ～）

D：スクリーンの裏面から投影する（半透過性スクリーンを使用）



本機を天井吊りに設置し、半透過性スクリーンに裏面から投影する方法です。投影距離やスクリーンとの関係は、「B：スクリーンの裏面から投影する」の場合を上下反転した状態となります。

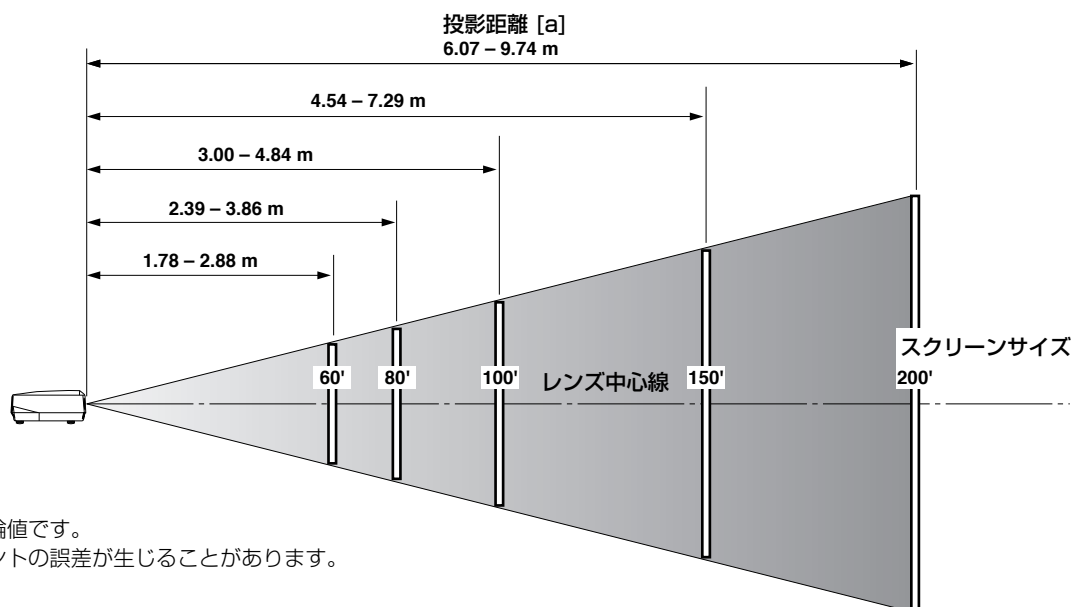
・ 設定：メニュー画面の〔設置〕→〔設置状態〕→〔リア/天井吊り〕（☞ 27 ページ～）

スクリーンと投影距離について

スクリーンに対する本機の最適設置位置（投影距離 [a]）は、使用するスクリーンのサイズ（対角線長）によって決まります。ズーム機能を利用するとワイド（広角）側からテレ（望遠）側までの所定範囲での投影距離の調整が可能です。また、V.POS（垂直位置）の調整により、投影される映像の上下位置をスクリーンと合わせることができます。下図と投影距離を参考にスクリーンサイズにあわせて本機を設置してください。

< 16 : 9 スクリーン使用の場合 >

スクリーンサイズ (inch)	投影距離 [a] ワイド (m) ~ テレ (m)
60	1.78 ~ 2.88
70	2.08 ~ 3.37
80	2.39 ~ 3.86
90	2.70 ~ 4.35
100	3.00 ~ 4.84
110	3.31 ~ 5.33
120	3.62 ~ 5.82
150	4.54 ~ 7.29
200	6.07 ~ 9.74



※ これらの数値は理論値です。
実際には数パーセントの誤差が生じることがあります。

< 4 : 3 スクリーン使用の場合 >

本機は 16 : 9 のパネルを装備しているため、4 : 3 スクリーンを使用する場合は投影する映像のサイズにより、その設置位置が変わってきます。

スクリーンサイズ (inch)	投影距離 [a]	
	16 : 9 映像(※ 1) ワイド(m) ~ テレ(m)	4 : 3 映像(※ 2) ワイド(m) ~ テレ(m)
60	1.63 ~ 2.64	2.17 ~ 3.52
80	2.19 ~ 3.54	2.93 ~ 4.72
100	2.76 ~ 4.44	3.68 ~ 5.92
120	3.32 ~ 5.34	4.43 ~ 7.12
200	5.58 ~ 8.94	7.43 ~ 11.92

(※ 3)

(※ 1) 常時 16 : 9 映像をスクリーンの幅いっぱいに投影する場合（上下に黒い帯が残ります）

(※ 2) 常時 4 : 3 映像をスクリーンいっぱいに投影する場合

(※ 3) 16 : 9 と 4 : 3 両方の映像を投影する場合

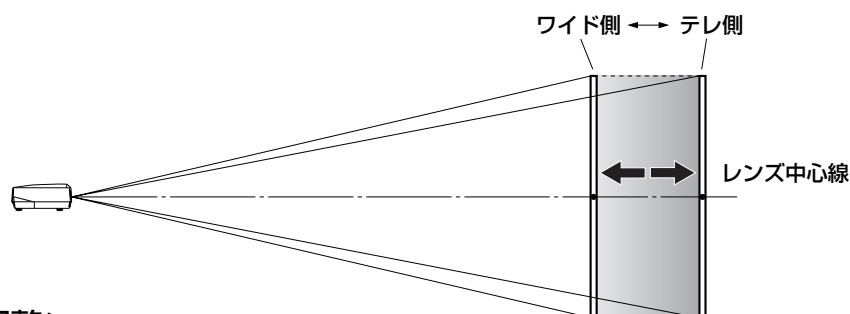
上記※ 1、※ 2 をズーム操作によって切替えて投影する方法で、両方の映像に対してスクリーンを最も有効に利用できます。この場合の投影距離は、※ 2 のワイド側から※ 1 のテレ側までの間となります。それぞれの映像に対してスクリーンいっぱいに投影するように、ズーム操作により投影する映像サイズを調整します。ただし、V. POS の調整により映像の位置がズれる場合がありますのでご了承ください。

投影する映像の位置について

設置されたスクリーンに対して投影する映像の位置は、次の方法で調整できます。

< ZOOM (ズーム) による調整 >

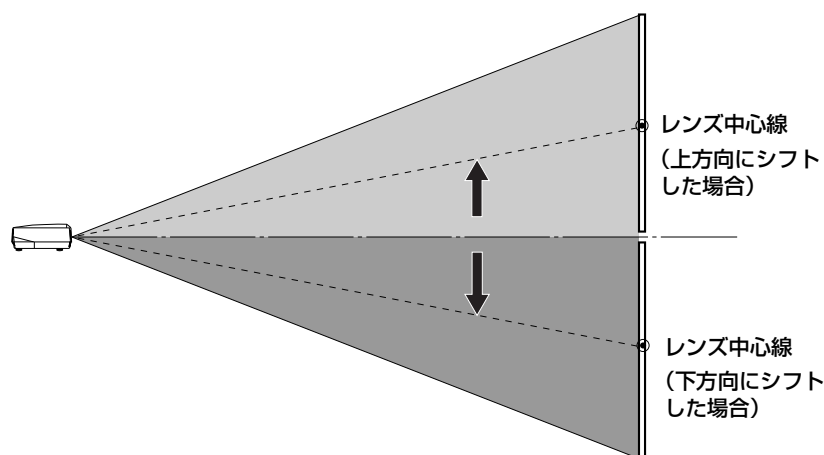
スクリーンサイズに対する投影距離 [a] は、ズーム機能により調整できる範囲を示しています。この範囲に設置した場合、映像をスクリーンいっぱいに投影するよう調整することができます。(☞ 26 ページ)



< V.POS (垂直位置) による調整 >

スクリーン上に投影する映像の上下位置を、スクリーンの高さの半分だけ上または下方向にシフトできます。

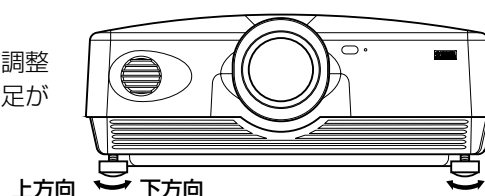
例えば、上方向いっぱいV.POSをシフトした場合は、映像の下端がレンズ中心線の延長線上にきます。(☞ 25 ページ)



< アジャスターによる調整 >

卓上置き設置の場合、底面のアジャスターを調節してスクリーン上に投影する映像の上下位置を微調整することができます。

本体前部底面の2本のネジ式可動足をまわすと傾きが変わり、投影する角度が調整できます。なお、可動足の可変範囲は約3cmです。それ以上ゆるめると、可動足がはずれることがありますのでご注意ください。



◆ 台形補正について

スクリーンに対する投影角度が仰角または俯角を持っている場合、画面が台形に歪みます。これを電子的に補正するのが台形補正です。この操作についてはメニュー画面の〔設置〕→〔縦方向台形補正〕または〔横方向台形補正〕画面で調整してください(☞ 36 ページ)。

メモ

- ・ 台形補正をかけるとアスペクト比が正常に保たれない場合があります。アスペクト比を正常に保つためにはなるべくレンズシフトはセンター位置でお使いください。
- ・ 台形補正によって映像に乱れが生じることがあります。スクリーンと本機の位置はなるべく直角になるよう設置してください。

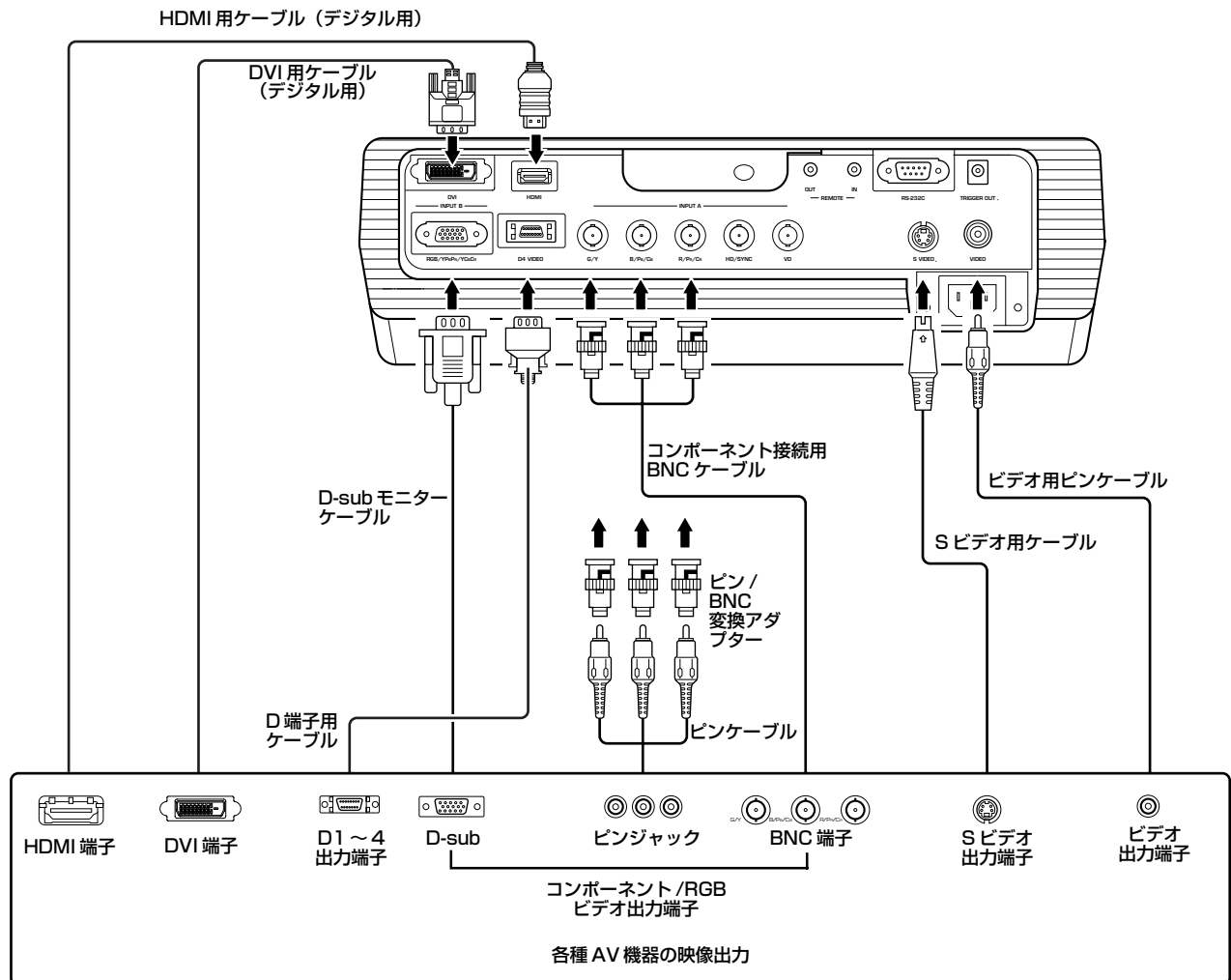
AV 機器との接続

本機には、7種類のビデオ入力端子が備わっています。AV機器の映像出力端子と本機を接続する際は、下図を参照のうえ、使用する端子、ケーブル、変換アダプターなどお間違いのないよう十分ご注意ください。

入力	信号の種類	端子形状
VIDEO	コンポジットビデオ	ピンジャック
S VIDEO	S ビデオ	ミニDIN端子
INPUT A	コンポーネントビデオ/RGBビデオ	BNC端子×3~5
INPUT B	コンポーネントビデオ/RGBビデオ	D-sub 15ピン
D4 VIDEO	コンポーネントビデオ	D端子
HDMI	コンポーネントビデオ/RGBビデオ (デジタル)	HDMI端子
DVI	RGBビデオ(デジタル)	DVI端子

ご注意

- 接続する前に、本機および接続する機器の電源コードがACコンセントに接続されていないことをご確認ください。
- 接続するAV機器により、接続方法や端子名が異なる場合があります。ご使用のAV機器に付属している取扱説明書もあわせてご覧ください。
- プラグはノイズやトラブルの原因にならないよう、確実に差し込んでください。



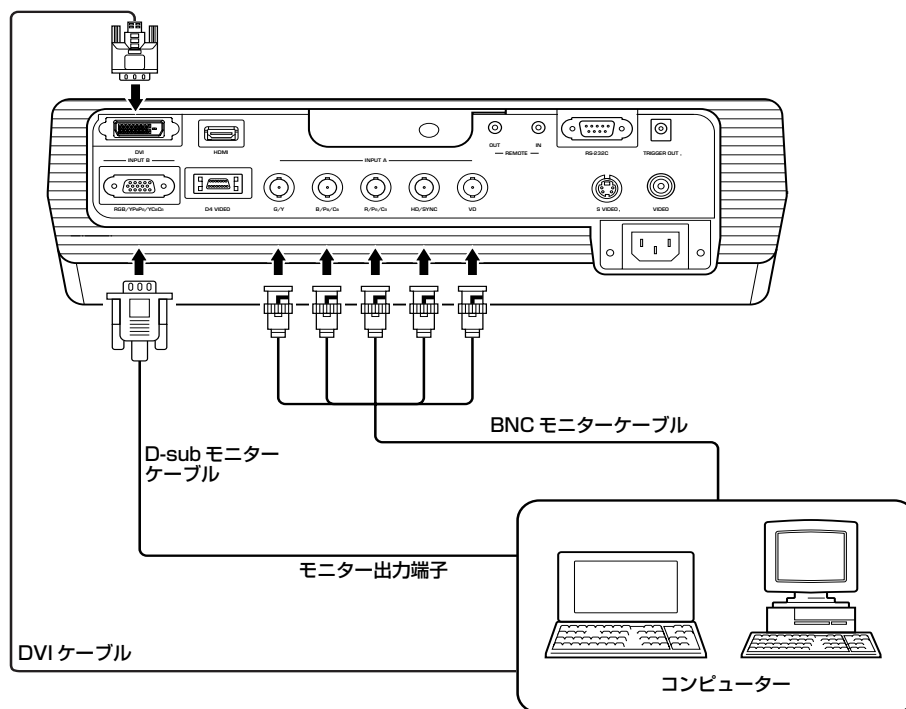
メモ

- INPUT AにAV機器のコンポーネント信号を接続する際は、Y/P_B/P_RまたはY/C_B/C_Rに対応する端子に間違いのないように接続してください。ご使用のAV機器に付属している取扱説明書もあわせてご覧ください。なお、RGBビデオの場合はHD/SYNC、VDへの接続が必要な場合もあります。

コンピューター機器との接続

本機には、3種類のコンピューター用ビデオ入力端子が備わっています。コンピューターの映像出力端子と本機を接続する際は、下図を参照のうえ、使用する端子、ケーブルなどお間違いのないよう十分ご注意ください。なお、HDMI端子はPC信号に対応していません。

入力	信号の種類	端子形状
INPUT A	RGB アナログ	BNC端子×5
INPUT B	RGB アナログ	D-sub 15ピン
DVI	RGB デジタル	DVI端子

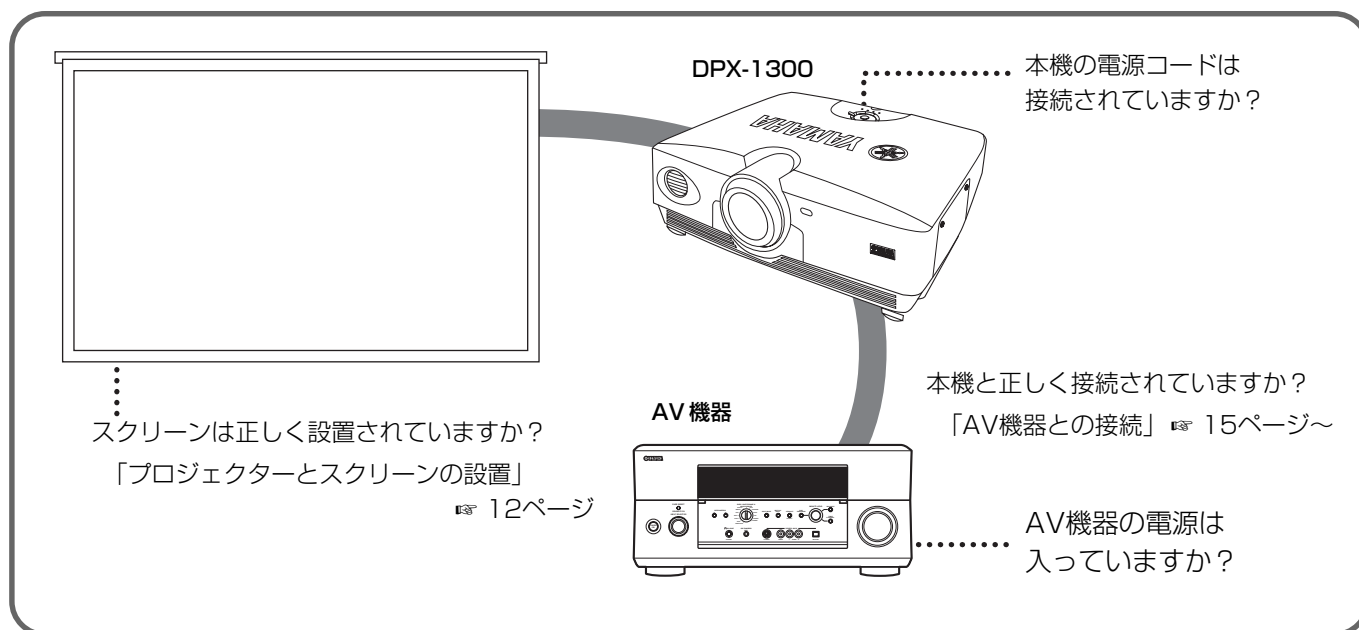


設置・接続を確認する

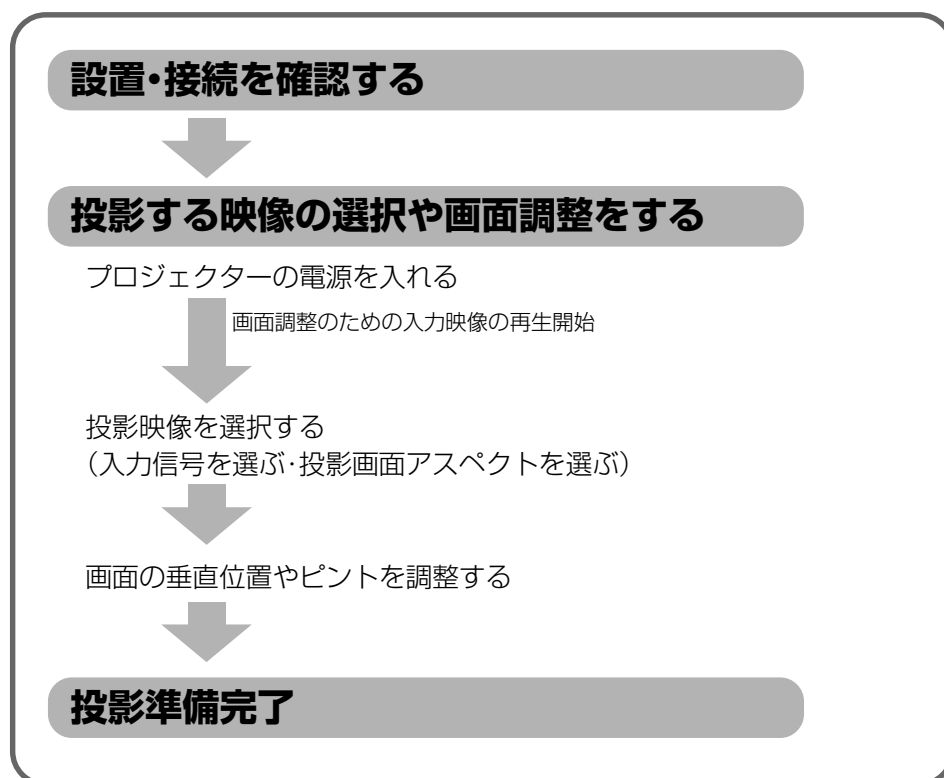
◆ 事前の確認

投影にあたっては、本機の設置状態・スクリーン・入力信号など使用状況に応じて、詳細な設定や調整をする必要があります。ただし、設置場所や入力用の映像機器を前回使用した状態から変更しないで投影するときは、基本的には設定・調整は必要ありません。正しく投影できないときだけ、接続の確認や設定・調整をしてください。

投影の前に、本機とスクリーンが正しく設置され、AV機器と正しく接続されていることを確認してください。



投影は次の手順で行います。

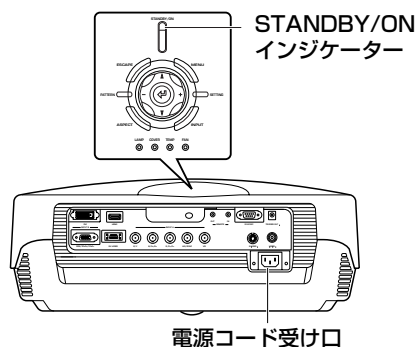


詳細設定については「メニュー」(☞ 27ページ～)をご覧ください。

プロジェクターの電源を入れる／待機状態にする

◆ 電源を入れる

操作を始める前に必ずレンズキャップを外してください。

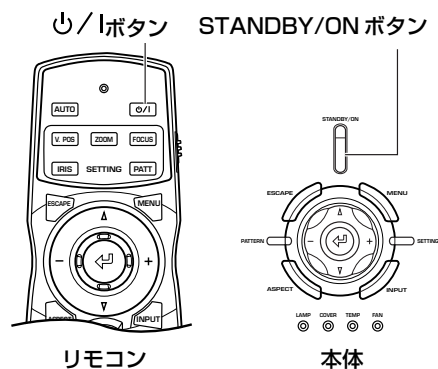
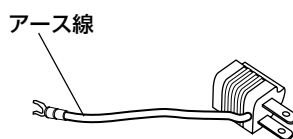


1. 付属の電源コードを本体背面の電源コード受口にしっかりと接続し、先端のプラグをコンセントに差し込みます。

STANDBY/ON インジケーターが赤色に点灯します。

ご注意

- プラグ変換アダプターをご使用の際は、アース線が電流に触れないようにご注意ください。感電する危険があります。



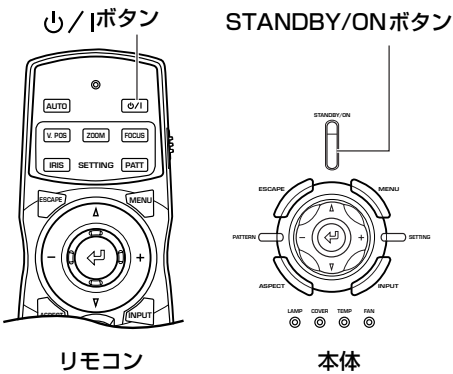
2. STANDBY/ONボタン（リモコンの電源ボタン）を押します。

STANDBY/ON インジケーターが緑色の点滅に変わって光源のランプが点灯し、投影の準備が行われます。投影の準備が完了すると（約35秒後）、STANDBY/ON インジケーターが緑色に点灯します。

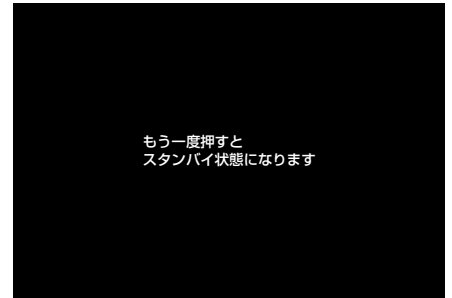
ご注意

- STANDBY/ONインジケーターが緑色で点滅または点灯している間は、絶対に電源コードを抜かないでください。ランプの寿命低下や故障の原因となります。

◆ 電源を待機状態にする



1. STANDBY/ON ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



2. 電源を待機状態にしたい場合は、もう一度 STANDBY/ON ボタンを押します。

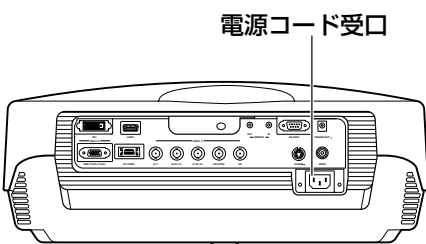
ランプが半点灯の状態になってから消灯し、ファンが回転してランプの冷却が始まります。ランプ冷却中(約2分間)はSTANDBY/ONインジケーターが赤色で点滅します。(この状態で再び電源を入れることはできません。)冷却が完了すると、ファンが停止し、STANDBY/ONインジケーターが赤色に点灯します。

メモ

- ・ ランプが半点灯状態の際、まれに点滅することがありますが、故障ではありません。

ご注意

- ・ ファンが回り、STANDBY/ONインジケーターが赤色で点滅している間は、絶対に電源コードを抜かないでください。ランプの寿命低下や故障の原因となります。
- ・ 本機のSTANDBY/ONボタンでスタンバイ(待機状態)にしても、本機は、まだ通電状態にあります。本機を完全に電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 長時間使用しないときは、レンズキャップをして電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 環境温度が急激に変化すると、本機に結露が発生することがあります。また、映像がくもって投影された場合も、結露の可能性がります。結露がなくなるまで、本機の電源を切ってください。結露が発生した状態で電源を入れると、故障の原因になります。



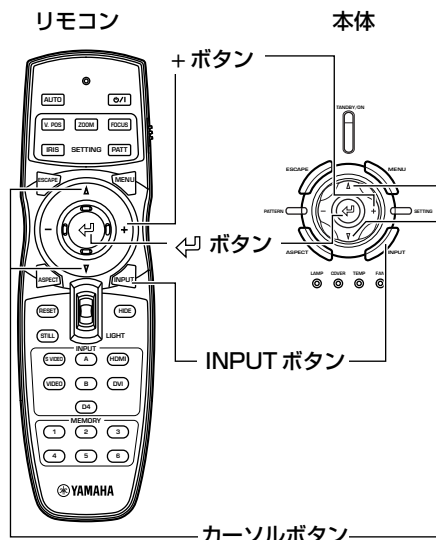
入力信号を選ぶ

◆ INPUT ボタンで選ぶ

INPUT ボタンを押すと表示されるメニューから入力信号を選択します。各設定で投影できる映像信号は以下のとおりです。

入力信号	投影する映像信号
VIDEO	VIDEO端子に入力されたAV機器からのコンポジットビデオ信号
S VIDEO	S VIDEO端子に入力されたAV機器からのSビデオ信号
INPUT A	<ul style="list-style-type: none">コンポーネント : INPUT AのBNC端子に入力されたコンポーネント信号RGB PC : INPUT AのBNC端子に入力されたコンピューターからのRGB信号RGB TV : INPUT AのBNC端子に入力されたAV機器のRGB信号
INPUT B	<ul style="list-style-type: none">コンポーネント : INPUT BのD-sub15ピン端子に入力されたコンポーネント信号RGB PC : INPUT BのD-sub15ピン端子に入力されたコンピューターからのRGB信号RGB TV : INPUT BのD-sub15ピン端子に入力されたAV機器のRGB信号
HDMI	<ul style="list-style-type: none">オート : AV機器からHDMI端子に入力されたデジタル信号(コンポーネント/RGBを自動判別)コンポーネント : AV機器からHDMI端子に入力されたデジタルコンポーネント信号RGB TV : AV機器からHDMI端子に入力されたデジタルRGB信号
DVI	<ul style="list-style-type: none">RGB PC : DVI端子に入力されたコンピューターからのRGB信号RGB TV : DVI端子に入力されたAV機器のRGB信号
D4 VIDEO	D4 VIDEO端子に入力されたAV機器からのコンポーネント信号

< INPUT ボタンで選ぶときの手順 >



1. INPUT ボタンを押します。

入力信号に関するメニューがスクリーンに表示されます。

入力信号
VIDEO
S VIDEO
INPUT A
INPUT B
HDMI
DVI
D4

2. △ / ▽ ボタンを押して入力信号を選び、↵ ボタンを押して確定します。

入力信号
VIDEO
S VIDEO
INPUT A
INPUT B
HDMI
DVI
D4

ご注意

- INPUT A、INPUT B を選択した場合は、サブメニューから〔コンポーネント〕、〔RGB PC〕、〔RGB TV〕のいずれかを、HDMI を選択した場合は、サブメニューから〔オート〕、〔コンポーネント〕、〔RGB TV〕のいずれかを選択することができます。サブメニューの内容を変更しない場合、前回の設定が適用されます。

3. + ボタンを押してサブメニューを開きます。

入力信号
VIDEO
S VIDEO
INPUT A
INPUT B
HDMI
DVI
D4

名称の右側に ↕ マークがあるものは、その下にサブメニューがあることを示します。

4. △ / ▽ ボタンを押して〔コンポーネント〕、〔RGB PC〕、〔RGB TV〕の中から適切なものを選び、↵ ボタンを押して確定します。

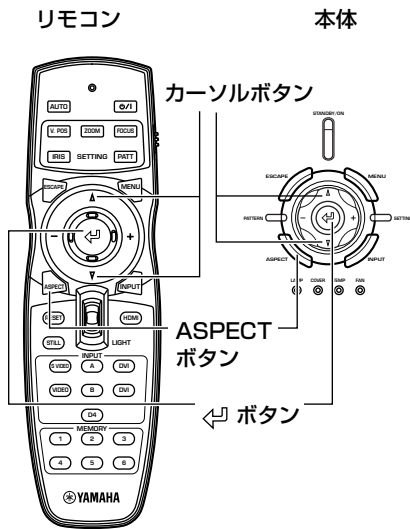
入力信号	
VIDEO	
S VIDEO	
INPUT A	コンポーネント
INPUT B	RGB PC
HDMI	RGB TV
DVI	
D4	

メモ

- ノート型PCなどと併用する場合、PCで映像出力先をPCの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に設定すると、外部モニターの映像が正しく表示されないことがあります。この場合は外部モニターのための設定に変更してください。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご参照ください。

◆ 投影画面の表示アスペクトを選ぶ

入力信号に対して、どのような縦横比率で映像を投影するかを決めるのが表示アスペクトです。



1. ASPECT ボタンを押します。

表示アスペクトに関するメニューがスクリーンに表示されます。

表示アスペクト
オート
ノーマル
スクイーズ
スマートズーム
ズーム
スペシャル
スルー

2. △ / ▽ ボタンを押してアスペクトを選び、↵ ボタンを押して確定します。

[スペシャル] と [スルー] は、+ ボタンを押すとサブメニューが表示されます。

表示アスペクト
オート
ノーマル
スクイーズ
スマートズーム
ズーム
スペシャル ↕
スルー

メモ

- 入力信号によって使用できるアスペクトが異なります。なお、入力信号にアスペクトに関する情報が含まれている場合、設定を〔オート〕にすると信号を検出して自動的に表示アスペクトが変更されます。
- 投影画面アスペクトは、メニュー画面の〔表示アスペクト〕からも選択することができます (P. 27 ページ～)。

<アスペクトの種類>

メモ

- ・ レターボックスや、スクイーズなどの用語は、用語解説 (55 ページ) をご覧ください。

オート

入力信号がレターボックスかスクイーズで、ソースにその情報が含まれる場合、これを検出して自動的に最適なモードに切り替わります。ただし、入力ソースの状態によっては、この機能を使用できないことがあります。この場合は、手動でモードを切り替えてください。

ノーマル

入力のアスペクトを維持したまま投影します。入力信号によっては左右に黒い帯が残る場合があります。

スクイーズ

水平方向に圧縮して収録されたソフトを、元のアスペクトに戻すモードです。これにより、正常な横長のワイド映像を表示します。

スマートズーム

4 : 3 映像の画面中央部分を維持したまま、左右両端のみを引伸ばし、16 : 9 のスクリーンいっぱいに映像を表示します。

ズーム

レターボックスとして入力された映像を 16 : 9 のスクリーンいっぱいに表示します。

スペシャル

字幕ズーム

字幕付きのレターボックスのビデオソフトを、スクリーン上に最適に投影するモードです。操作については45、46 ページをご覧ください。

- ・ 字幕範囲：字幕の範囲を調整します。
- ・ 垂直スクロール：画面を上下に動かして字幕の位置を調整します。

シネマズーム

シネマスコープ(2.35:1)画面のブラックバーをカットして縦方向をいっぱいに表示し、画面両サイドをカットして表示するモードです。

SDTV(4 : 3 映像)用とHDTV(16 : 9 映像)用の2種類があります。

シネマスクイーズ

シネマスコープサイズがスクイーズ収録された4 : 3 映像のブラックバーをカットし、垂直方向に圧縮して 16 : 9 のパネル解像度にリサイズした後、画面の両サイドをカットした映像を表示します。

14 : 9 ズーム

14 : 9 映像を収録した4 : 3 映像を、画面の両サイドの黒領域を維持したまま、縦方向いっぱいに表示します。

スルー

ノーマルスルー

入力された信号を拡大・縮小せずにそのまま投影するモードです。信号の解像度により表示される画面の大きさが変わります。

スクイーズスルー

入力信号の水平方向のみを拡大して、16 : 9 のアスペクトで投影します。信号の解像度により、表示される画面の大きさが変わります。入力信号がRGB PC の場合は選べません。

<投影イメージ>

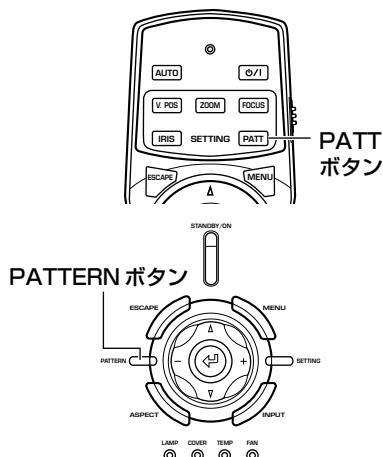
入力信号の種類	入力イメージ	表示アスペクト	投影イメージ
通常の4:3映像		ノーマル →	
		スマートズーム →	
レターボックス		ズーム →	
		字幕ズーム →	
		シネマズーム →	
スクイーズ		→ スクイーズ →	
		→ スクイーズ →	
スクイーズ		→ スクイーズ →	
		→ シネマスクイーズ →	
14:9画像		→ 14:9ズーム →	
HDTV	ノーマル	→ ノーマル →	
	シネマスコープ	→ シネマズーム →	
RGB PC		→ ノーマル →	
すべて	ノーマル	→ ノーマルスルー →	
	スクイーズ	→ スクイーズスルー →	

画面の垂直位置やピントなどを調整する

最適な投影状態にするために、次の設定を調整します。

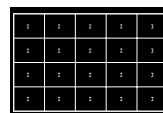
◆ テストパターンを表示する – PATT ボタン

本機にはフォーカス調整や台形補正に必要なクロスハッチ、画質確認に有用なグレースケールとカラーバーの3種類のテストパターンが装備されています。



1. リモコンのPATT ボタンまたは本体のPATTERN ボタンを押します。
2. +/− ボタンを押して必要なパターンの種類を選びます。
3. 表示を終了するには、リモコンのPATT ボタンまたは本体のPATTERN ボタンを押します。

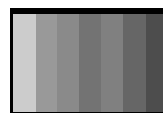
クロスハッチ



グレースケール

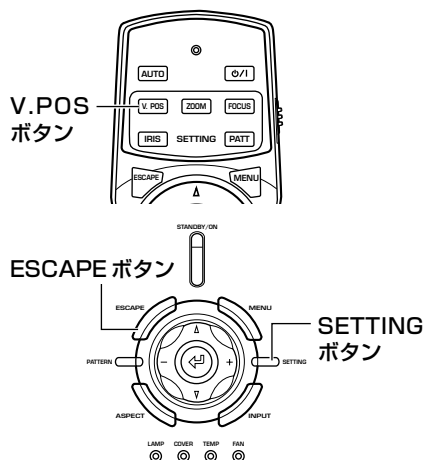


カラーバー

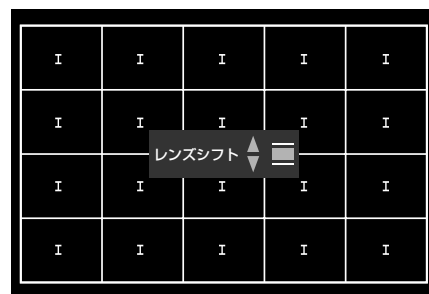


◆ 垂直位置を調整する – V.POS ボタン

スクリーンの中心が、レンズ中心の延長線から上または下にずれている場合は、V.POS ボタンで投影される映像の上下位置を調整します。調整できる範囲はスクリーンの高さの半分までです。

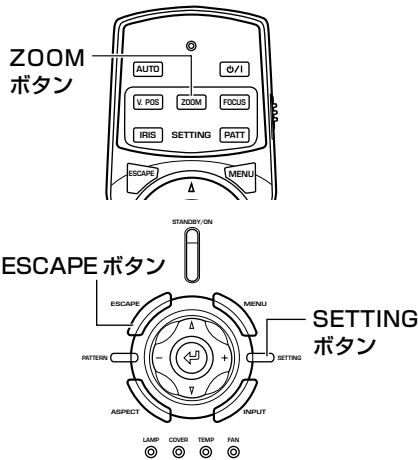


1. リモコンのV.POS ボタン、または本体のSETTING ボタンを繰り返し押して垂直位置調整(レンズシフト)を選択します。
2. △ / ▽ ボタンを押して垂直位置を調整します。
3. 調整モードを終了するには、V.POS またはESCAPE ボタンを押します。

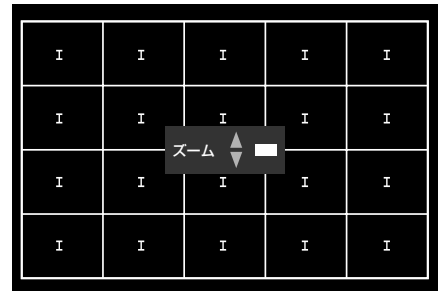


◆ サイズを調整する – ZOOM ボタン

スクリーンと投影される映像のサイズを合わせるために、投影する映像の拡大・縮小を行います。ズーム比は 1 : 1.6 です。

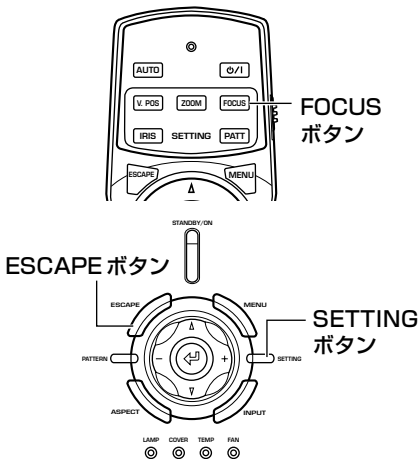


1. リモコンのZOOMボタン、または本体のSETTINGボタンを繰り返し押し続けてズーム調整（ズーム）を選択します。
2. △/▽ボタンを押して映像サイズを調整します。
3. 調整モードを終了するには、ZOOMまたはESCAPEボタンを押します。



◆ ピントを調整する – FOCUS ボタン

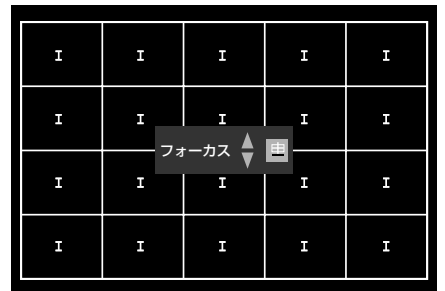
スクリーン上のピントの調整を行います。



1. リモコンのFOCUSボタン、または本体のSETTINGボタンを繰り返し押し続けてフォーカス調整（フォーカス）を選択します。

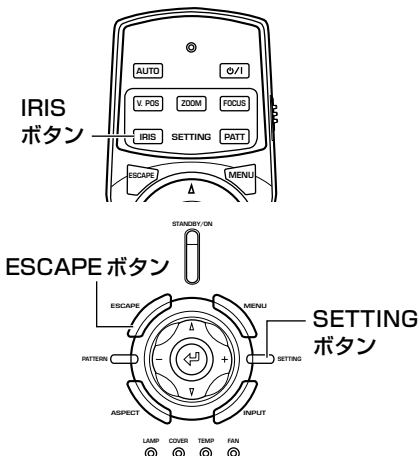
メモ

- ・ テストパターンを使ってピントを調整するときは、リモコンのPATTボタン、または本体のPATTERNボタンを押して調整用のテストパターンを投影し、手順1を行います。
2. △/▽ボタンを押してピントを調整します。
 3. 調整モードを終了するには、FOCUSまたはESCAPEボタンを押します。

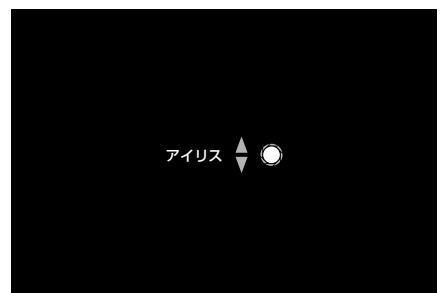


◆ 絞りを調整する – IRIS ボタン

深い黒レベルを重視し、高いコントラストを得るには▽でアイリスを絞り、明るい画像を得るには△でアイリスを開きます。目的に応じてご使用ください。



1. リモコンのIRISボタンまたは本体のSETTINGボタンを繰り返し押し続けて絞り調整（アイリス）を選択します。
2. △/▽ボタンを押して絞りを調整します。
3. 調整モードを終了するには、IRISまたはESCAPEボタンを押します。



メニューの構成

最適な投影を楽しむには、使用する環境に応じて、画質や信号などの環境設定をメニュー画面で調整する必要があります。

メニュー画面を表示するには、本体コントロール部またはリモコンのMENU ボタンを押します。

メニュー画面は4つのメニューグループ（画質・信号・初期・設置）で構成されており、各メニューグループの下層には、さまざまなメニューアイテムが用意されています。（入力信号の種類により、選択できるメニューアイテムが異なります。）

これらのメニューアイテムを調整することにより、お好みの映像をお楽しみいただけます。なお、メニューアイテムの操作方法について詳しくは、38ページ~をご覧ください。

◆ メニュー画面

<表示例：画質メニューの時>

メニューグループ
（画質）を選んでいる例

メニューアイテム
選択したメニューグループにより、表示されるメニューアイテムが異なります。右の画面は「画質」グループを選択した場合の表示例になります。

メニュー操作ガイド
特別な操作が必要な場合、ボタン操作のヘルプを表示します。

メニュー番号ステータス
現在選択しているメニュー番号とメニューの状態を表示します。メニュー番号の変更、メニューのコピー、メニューロック操作が行えます（※ 48ページ~）。

【メニューの移動】エリア
メニュー画面移動の際に使用します。操作については44ページをご覧ください。

パラメーター調整エリア

入力端子表示エリア
現在選択している入力端子を表示します。

メニューアイテムの中には、サブメニュー（さらに下層の選択アイテム）が用意されているものがあります。これらのアイテムを選択している場合、アイテム名の右側に \updownarrow が表示されます。

<表示例：〔色調整〕アイテムのサブメニュー>

サブメニューがあることを示します

〔色調整〕アイテムのサブメニュー

〔WRGB〕のサブメニューの選択アイテム

上の画面は、選択したメニューアイテム内にサブメニュー（さらに下層の選択アイテム）がある場合の表示例になります。このようにサブメニューの中には、さらに下層の選択アイテムが用意されている場合もあります。

メニューアイテム

◆ メニューアイテム一覧

● 画質

黒レベル (ブライトネス)
白レベル (コントラスト)
ガンマ
色あい
色の濃さ
シャープネスゲイン
シャープネスタイプ
色調整 ★ 1
ホワイトピーキング
アイリス
レベル調整 ★ 2

● 信号

表示アスペクト ★ 3
オーバースキャン
3次元 Y/C 分離
プログレッシブモード
色空間変換
セットアップレベル
オーバーシュート抑制レンジ
オーバーシュート抑制レベル
ノイズリダクションタイプ
ノイズリダクションレベル
水平方向表示位置
垂直方向表示位置
信号レベル
信号ステータス ★ 4

● 初期

カラー信号方式 ★ 5
INPUT A 入力信号 ★ 6
INPUT A 同期タイプ ★ 7
INPUT B 入力信号 ★ 6
INPUT B 同期タイプ ★ 7
HDMI 信号 ★ 8
DVI 信号 ★ 6
自動パワーオフ
自動入力切替
表示言語 ★ 9
ランプ点灯時間 ★ 10
リセット ★ 11

● 設置

設置状態 ★ 12
縦方向台形補正
横方向台形補正
リモコン受光部 ★ 13
リモコンID ★ 14
レンズ調整ロック
ランプパワー
メニューカラー ★ 15
メッセージ
トリガーアウト ★ 16
通信速度 ★ 17

メモ

- ・ 入力信号によって選択できるメニューアイテムが異なります。
- ・ ★印があるアイテムにはサブメニューがあります。

<サブメニューのアイテム>

表示されるアイテムは、入力信号によって異なります。☆印があるサブメニューアイテムには、さらに下層の選択アイテムがあります。

● 画質

★ 1：色調整	
標準	☆ 1
WRGB	☆ 2
WRGBYCM	☆ 3
★ 2：レベル調整	
YPbPr	RGB
Yオフセット	Rオフセット
Pbオフセット	Gオフセット
Prオフセット	Bオフセット
Yゲイン	Rゲイン
Pbゲイン	Gゲイン
Prゲイン	Bゲイン

● 信号

★ 3：表示アスペクト	
オート	
ノーマル	
スクイーズ	
スマートズーム	
ズーム	
スペシャル	☆ 4
スルー	☆ 5
★ 4：信号ステータス	
入力信号解像度	
同期信号タイプ	
同期信号極性	
周波数	
ソース機器(HDMIのみ)	

● 初期

★ 5：カラー信号方式	
オート	
NTSC	
NTSC4.43	
PAL	
PAL-M	
PAL-N	
PAL60	
SECAM	
★ 6：Input A/B入力、DVI信号	
コンポーネント	
RGB PC	
RGB TV 他	

● 設置

★ 7：Input A/B同期タイプ	
オート	
Separate Sync	
Composite Sync	
Sync On Green	
★ 8：HDMI信号	
オート	
コンポーネント	
RGB TV	
★ 9：表示言語	
日本語	
English	
Deutsch	
Español	
Français	
Italiano	
Portuguêsa	
한국어	
中文	
★ 10：ランプ点灯時間	
いいえ	
はい	
★ 11：リセット	
全ての設定	
全てのメモリー	
現在選択中のメモリー	
★ 12：設置状態	
フロント/テーブル	
フロント/天吊り	
リア/テーブル	
リア/天吊り	
★ 13：リモコン受光部	
前&後	
前	
後	
オフ	
★ 14：リモコンID	
ID 1	
ID 2	
★ 15：メニューカラー	
モノトーン	☆ 6
カラー	☆ 7
★ 16：トリガーアウト	
ランプ連動	
ファン連動	
RS-232C	
★ 17：通信速度	
9600bps	
19200bps	
38400bps	
57600bps	
115200bps	

<最下層メニューの選択アイテム>

☆ 1 標準

・色温度

☆ 2 WRGB

・色選択画面
└ 色座標
└ ゲイン

☆ 3 WRGBYCM

・色選択画面
└ 色座標
└ ゲイン

☆ 4 スペシャル

・字幕ズーム
└ 字幕範囲
└ 垂直スクロール
・シネマズーム
・シネマスクイーズ
・14:9 ズームセット

☆ 5 スルー

(ビデオ系のみ)
・ノーマルスルー
・スクイーズスルー

☆ 6 モノトーン

・メニューブライツネス
・メニューコントラスト

☆ 7 カラー

・メニューブライツネス
・メニューコントラスト
・カラースタイル

メモ

- ・ WRGBとWRGBYCMの色選択画面では、色温度の調整に加え各色の色座標とゲイン調整を行うことができます。操作については42～43ページをご覧ください。
- ・ 字幕ズームにはさらに〔字幕範囲〕と〔垂直スクロール〕の選択アイテムがあります。選択の方法については45～46ページをご覧ください。

◆ 各メニューグループのアイテムと機能

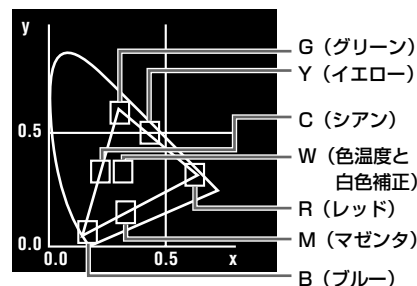
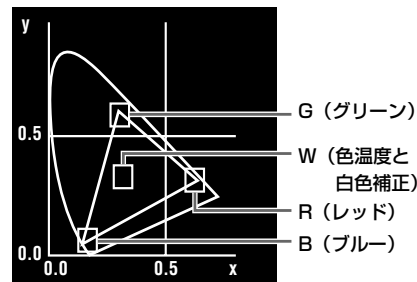
<画質>

入力信号がない状態ではこの調整はできません。

<p>黒レベル</p> <p>(以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>映像の暗い方（黒レベル）を調整します 映像の暗い方を、白のピークレベルを保ったまま調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ +側 (0 ~ +50) 暗いシーンの輝度が上がり、階調がはっきりします。コントラストが低下します。 ・ -側 (-50 ~ 0) 暗いシーンが沈みコントラストのある映像になりますが、黒の階調は見えにくくなります。 	
<p>白レベル</p> <p>(以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>映像の明るい方（白レベル）を調整します 映像の明るい方を、黒側の明るさを変えないで調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ +側 (0 ~ +50) 白の明るさが上がりコントラストははっきりしますが、白の階調は見えにくくなります。 ・ -側 (-50 ~ 0) コントラストが低下します。 	
<p>ブライトネス</p> <p>(以下の入力信号で調整できます) RGB PC</p>	<p>画像全体の輝度（ブライトネス）を調整します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輝度を上げる (0 ~ +50) 上げすぎると黒が浮き、画像の白の部分が飽和気味となります。 ・ 輝度を下げる (-50 ~ 0) 下げすぎると全体が暗くなります。 	
<p>コントラスト</p> <p>(以下の入力信号で調整できます) RGB PC</p>	<p>映像の明るい方（白レベル）を調整します 映像の明るい方を、黒側の明るさを変えないで調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ +側 (1.00 ~ 1.50) 白の明るさが上がりコントラストははっきりしますが、白の階調は見えにくくなります。 ・ -側 (0.50 ~ 1.00) コントラストが低下します。 	
<p>ガンマ</p> <p>(以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV / RGB PC</p>	<p>映像の色調や階調の応答特性を変えます 対応する 10 種類のパターンが用意されています(☞ 46 ページ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A ~ E 一般的な TV モニターと同様なコントラスト感を得られます。A → E へと暗部が沈み込む並びになっています。 ・ a ~ e 暗部の階調表現を豊かにするカーブとなっています。a → e へと暗部が沈み込む並びになっています。 	

<p>色あい (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>色相または色あいを設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ +側 (0 ~ +50) に調整 : より青の方向に色あいがシフトします。 ・ -側 (-50 ~ 0) に調整 : より赤の方向に色あいがシフトします。
<p>色の濃さ (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>色の濃さを表わす彩度を調整します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ +側 (+100 ~ +200) に調整 : 色が濃く表現されます。 ・ -側 (0 ~ +100) に調整 : 色が薄く表現されます。
<p>シャープネスゲイン (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>投影される映像の縁取りをくっきりさせます 数値を大きくするとくっきりする度合いが増し、数値を下げると映像が柔らかくなり、ノイズ成分を抑えることができます。 調整範囲: 0 ~ 20</p>
<p>シャープネスタイプ (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>シャープネスゲイン (上記) の処理に用いるフィルターの特性を変えます 数値を大きくすると高域の特性をあらわし、数値を下げると低域の特性をあらわします。シャープネスゲイン (上記) の数値を大きく設定した場合に、数値を大きくするとよりシャープな映像になり、数値を下げるとよりソフトな映像になります。シャープネスゲインが [0] の時は調整できません。 調整範囲: 1 ~ 20</p>
<p>色調整 (以下の信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 コンポーネント信号 / RGB TV / RGB PC / D 4 ビデオ信号</p>	<p>色調整をします 〔標準〕〔WRGB〕〔WRGBYCM〕の三つの調整メニューがあります。色温度と白色補正のシンプルな調整から各色のゲインと色座標の調整まで、必要に応じて使い分けます。初期設定では、HDTV (高精細画質) またはPCの映像入力時はBT709 (高精細テレビ用RGB色座標) が選択され、SDTV (標準画質) の映像入力時はBT601 (標準テレビ用RGB色座標) が選択されます。パラメーターの操作方法については42ページをご覧ください。 メニューの設定項目右側には、現在の色温度の値が表示されます。</p> <div data-bbox="579 1176 1244 1202" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>色調整 ↑ ↓ 標準 6700K ±0.000uv ← 現在の色温度を表示</p> </div> <p>標準 色温度と白色補正 (W) を調整します。プロジェクターの持つ最大色度範囲によって白色調整されます。</p> <p>色温度 (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV / RGB PC 色温度を調整します 白色を赤みがかった色から青みがかった色の間と、緑がかった色からマゼンタがかった色の間で調整します。色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調となり、色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調となります。 調整範囲: 5,000 ~ 10,000</p> <p>白色補正 (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV / RGB PC GB PC △UV を調整します △UV が+になれば緑側に、-になればマゼンタ側に寄った色調になります。 調整範囲: -0.02 ~ +0.02</p> <div data-bbox="1107 1211 1474 1435"> <p>W (色温度と白色補正)</p> </div> <div data-bbox="1091 1491 1445 1776"> <p>色温度調整</p> </div> <div data-bbox="1091 1821 1445 2107"> <p>△UV</p> </div>

<p>色調整 (以下の信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 コンポーネント信号 / RGB TV/ RGB PC / D 4ビデオ信号</p>	<p>WRGB 色温度と白色補正 (W) のほか、R (レッド)、G (グリーン)、B (ブルー) の三原色の色座標とゲインを調整できます。この時 Y (イエロー)、C (シアン)、M (マゼンタ) の補色については、適切な値に自動設定されます。色温度を調整すると、RGBゲインは色座標から算出され再設定されます。ゲインを調整すると、色温度が色座標とゲインから算出され再設定されます。また、色温度を固定して RGB色座標を調整する色温度固定モードにも切り替えができます。パラメーターの操作方法については 43 ページをご覧ください。</p> <p>WRGBYCM 色温度と白色補正 (W)、RGBに加え Y (イエロー)、C (シアン)、M (マゼンタ) の色座標とゲインを個別に調整できます。色調整のサブメニューで WRGBYCM を選択している時に、リモコンの RESET ボタンを押すと、設定されている色温度と RGB の色座標にもとづき、RGB のゲイン、YCM の色座標およびゲインが自動的に最適な値に設定されます。</p> <p>調整範囲：白色補正 : - 0.02 ~ +0.02 色温度 : 5,000 ~ 10,000 ゲイン : 0.00 ~ 1.99</p>
<p>ホワイトピーキング</p>	<p>投影される映像の白の部分の輝きを增強させます 調整範囲：0 ~ 5</p>
<p>アイリス (以下の信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV / RGB PC</p>	<p>アイリス(光学絞り)を調整します 3段階の選択が可能です。</p> <p style="text-align: center;"> 閉 ← → 開  </p>
<p>レベル調整 (以下の信号で調整できます) コンポーネント信号 / RGB TV / RGB PC</p>	<p>アナログ入力信号のゲインとオフセットを調整します コンポーネント信号、RGB 信号の入力信号の各要素 (Y、Cb、Cr / R、G、B) について、そのゲインとオフセットを調整します。 調整範囲：- 50 ~ 0 ~ + 50 (HDMI 信号を除く)</p>



<信号>

入力信号がない状態ではこの調整はできません。



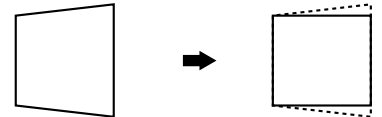
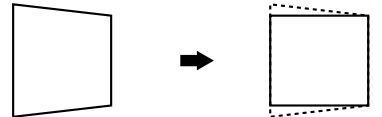
<p>表示アスペクト (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV / RGB PC</p>	<p>入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します アスペクトの設定については 22 ページをご覧ください。</p>
<p>オーバースキャン (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>ビデオ系入力ソースをオーバースキャン表示します 〔標準〕、〔フル〕から選択します。〔表示アスペクト〕で〔スマートズーム〕選択時は無効です。〔フル〕時は画面端にノイズが生じる場合がありますが故障ではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〔標準〕：出画率約 94% ・〔フル〕：出画率約 100%
<p>3次元 Y/C 分離 (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 (NTSC)</p>	<p>VIDEO 端子からの入力映像の画質を補正します 特に細かな縦縞の映像に現れる虹状のクロスカラーや、輪郭部の目障りなドット妨害を押えます。コンポジット入力にて NTSC 方式のみ有効です。 選択項目：オン / オフ</p>
<p>プログレッシブモード (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>インターレース / プログレッシブ (I/P) 変換のモードを切り替えます インターレース / プログレッシブ (I/P) 変換のモードを、オート、ビデオ、またはフィルムに切替えます。(TV のインターレース信号のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〔オート〕：ビデオ映像、フィルム映像、コンピューターグラフィック (CG) 映像コンテンツを検出し、自動的に最適なプログレッシブ変換を行います。 ・〔ビデオ〕：ビデオ映像に最適な動き検出型プログレッシブ変換を行います。 ・〔フィルム〕：フィルム映像や CG 映像に最適な、プルダウン型プログレッシブ変換を行います。 入力映像が明らかにプログレッシブフレームで構成されている場合に限り、このモードを選んでください。
<p>色空間変換 (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号</p>	<p>色空間変換係数を選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〔オート〕：入力信号の解像度に応じて最適な色空間変換係数を自動選択 ・〔SDTV〕：SDTV 系信号の色空間変換係数 (BT.601) ・〔HDTV〕：HDTV 系信号の色空間変換係数 (BT.709)
<p>セットアップレベル (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>映像信号の黒レベルの位置の違いを補正します 通常は 0% を選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペダスタルレベルとの差のない信号：〔0%〕に設定 ・黒位置の高い信号：〔7.5%〕に設定 

<p>オーバーシュート抑制レンジ (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>投影する映像の輪郭部分にある不自然なオーバーシュートの抑制範囲を調整します この機能は SDTV と EDTV のみに有効です。 調整範囲： 1 ～ 5</p>
<p>オーバーシュート抑制レベル (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>投影する映像の輪郭部分にある不自然なオーバーシュートの抑制量を調整します この機能は SDTV と EDTV のみに有効です。 選択項目： オフ / 1 / 2 / 3</p>
<p>ノイズリダクションタイプ (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>映像のノイズやざらつきを抑えます ノイズが多いソースの場合に、輝度信号と色信号に含まれるノイズやざらつき等をデジタル処理で効果的に抑え、より鮮明な映像を投影することができます。 選択項目： オフ / 3DNR / DVNR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [3DNR]： 3次元デジタルノイズリダクション この機能は SDTV、EDTV、HDTV のみに有効です。 ピクセル単位で検出し、輝度信号と色信号に含まれるノイズやランダムノイズを低減します。 ・ [DVNR]： デジタルビデオノイズリダクション この機能は SDTV のみに有効です。 デジタルビデオの映像圧縮により発生するモスキート（ちらつき）ノイズやブロックノイズを低減します。
<p>ノイズリダクションレベル (以下の入力信号で調整できます) ビデオ信号 / Sビデオ信号 / コンポーネント信号 / RGB TV</p>	<p>ノイズリダクションの抑制量を調整します 調整範囲： 1 / 2 / 3 / 4</p>
<p>水平方向表示位置 (以下の入力信号で調整できます) RGB PC / RGB TV / コンポーネント（HDMI / DVI 信号を除く）</p>	<p>投影する映像の水平方向の位置を調整します 調整範囲： - 10 ～ 0 ～ +10</p>
<p>垂直方向表示位置 (以下の入力信号で調整できます) RGB PC / RGB TV / コンポーネント（HDMI / DVI 信号を除く）</p>	<p>投影する映像の垂直方向の位置を調整します 調整範囲： - 5 ～ 0 ～ +5</p>
<p>信号レベル (以下の入力信号で調整できます) RGB TV（HDMI / DVI 信号のみ）</p>	<p>HDMI / DVI の入力信号レベル（黒レベルと白レベルの範囲）を選択します この機能は RGB TV が選択された場合にのみ有効です。 選択項目： 16 ～ 235 / 0 ～ 255</p>
<p>信号ステータス</p>	<p>入力されている映像信号の解像度を表示します RGB 系の入力では同期信号の情報を表示します。</p>

<初期>

カラー信号方式	ビデオ入力時のカラー信号方式を選択します 通常はオートにしておく、方式を判別して自動的に切り替わります。NTSC4.43はオート対象外のため、入力信号がNTSC4.43の場合はNTSC4.43に設定してください。 選択項目：オート/NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM
INPUT A 入力信号	INPUT A に入力される信号の種類を選択します 選択項目：コンポーネント/RGB PC/RGB TV
INPUT A 同期タイプ	INPUT A に入力される信号の同期方式を選択します RGB TV だけで機能します。 選択項目：オート/Separate Sync/Composite Sync/Sync on Green
INPUT B 入力信号	INPUT B に入力される信号の種類を選択します 選択項目：コンポーネント/RGB PC/RGB TV
INPUT B 同期タイプ	INPUT B に入力される信号の同期方式を選択します RGB TV だけ機能します。 選択項目：オート/Separate Sync/Composite Sync/Sync on Green
HDMI 信号	HDMI 入力端子に入力される信号の種類を選択します 選択項目：オート/コンポーネント/RGB TV
DVI 信号	DVI 入力端子に入力される信号の種類を選択します 選択項目：RGB PC/RGB TV
自動パワーオフ	オンに設定すると、選択している入力信号が途絶え、他の操作をせずに30分が経過すると、自動的にスタンバイ状態に移行します 選択項目：オン/オフ
自動入力切替	無信号時に入力を自動で切り替えます 選択中の入力信号が無信号になった場合、または電源を入れたときに前回選択していた入力信号が無信号だった場合に、自動的に次の順序で他の入力信号に切り替わります。 INPUT A → INPUT B → D4 VIDEO → S VIDEO → VIDEO → HDMI → DVI → はじめに戻る 選択項目：オン/オフ
表示言語	メニューの画面に表示される言語を選択します 選択項目：日本語/English/Deutsch/Español/Français/Italiano/Portuguêsa/한국어/中文
ランプ点灯時間	ランプの積算使用時間を表示します サブメニューを開くと使用時間のリセットができます。操作については45ページをご覧ください。
リセット	初期値に戻します メニューの各アイテムの設定やメモリー内容を初期値に戻します。操作については44、53、54ページをご覧ください。 ・[全ての設定] : 入力中の端子および入力信号の種類に関係なく、すべてのメモリー番号の内容およびメインメニュー「初期設定」、「設置」の各種設定を工場出荷状態に戻します。 ・[全てのメモリー] : 入力中の端子および入力信号の種類に関係なく、すべてのメモリー番号の内容を初期値に戻します。 ・[現在選択中のメモリー] : 現在選択しているメモリー番号の内容（入力中の端子および入力信号の種類に対応する設定のみ）を初期値に戻します。

<設置>

設置状態	<p>本機の設置状態を指定します 選択項目：〔フロント/テーブル〕〔フロント/天吊り〕〔リア/テーブル〕〔リア/天吊り〕 (P. 12 ページ)</p>
縦方向台形補正	<p>スクリーンに対する投影角度を調整します 本機設置時に、スクリーンに対する投影角度が仰角または俯角を持っていると、画面が台形に歪みます。この歪みを電子的に補正するのが台形補正で、画面の垂直方向の長さを変えずに、水平方向の歪みを補正します。上が広い場合はプラス (0 ~ +50) に、下が広い場合はマイナス方向 (-50 ~ 0) に調整してください。</p> <p>画像の上方が広がる場合： </p> <p>数値をプラス (+) 方向に補正します</p> <p>画像の下方が広がる場合： </p> <p>数値をマイナス (-) 方向に補正します</p>
横方向台形補正	<p>スクリーンに対する投影角度を調整します 本機設置時に、スクリーンに対する投影角度が仰角または俯角を持っていると、画面が台形に歪みます。この歪みを電子的に補正するのが台形補正で、画面の水平方向の幅を変えずに、垂直方向の歪みを補正します。右側が広い場合はプラス (0 ~ +50) に、左側が広い場合はマイナス方向 (-50 ~ 0) に調整してください。</p> <p>画像の右側が広がる場合： </p> <p>数値をプラス (+) 方向に補正します</p> <p>画像の左側が広がる場合： </p> <p>数値をマイナス (-) 方向に補正します</p>
リモコン受光部	<p>リモコン受光部を設定します 本機には前後部の2個所にリモコン受光部 (リモコンの信号を受けるセンサー) が備わっており、使用するリモコン受光部を切り替えます。ワイヤード接続の場合はどの設定にしても操作できます。 選択項目：前&後 / 前 / 後 / オフ</p>
リモコンID	<p>リモコンにIDを設定します 1つのリモコンで本体を2台操作する際に、それぞれの本体に異なるIDを割り当てます。これにより、リモコン (リモコンコード切替スイッチ) のIDと一致する本体をリモコンで操作することができます。 選択項目：ID1 / ID2</p>
レンズ調整ロック	<p>レンズの調整値をロックします レンズに関連する調整 (V. POS・ZOOM・FOCUS) の値を誤って変更しないようにロック (オン) します。解除するにはオフに設定します。</p>
ランプパワー	<p>ランプに供給する電力を下げます ランプに供給する電力を 80 ~ 100% の範囲で調整します。</p>

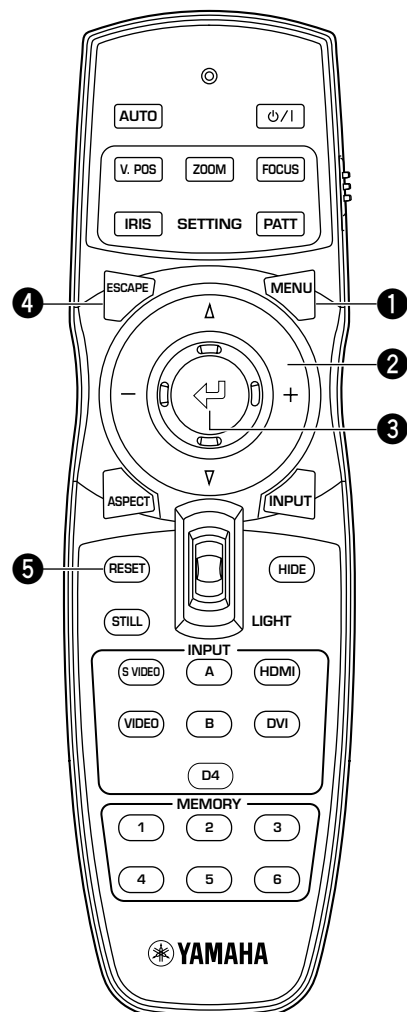
メニューカラー	<p>画面にメニューを表示している時の文字や背景色を選択します</p> <p>メニュー画面の色を〔モノトーン〕と〔カラー〕から選択します。さらに、下層の〔メニューブライトネス〕と〔メニューコントラスト〕によってメニュー画面の明るさとコントラストを調整することができます。カラーは3種類用意されています。</p> <p>モノトーン ┌メニューブライトネス └メニューコントラスト</p> <p>カラー ┌メニューブライトネス └メニューコントラスト └カラースタイル</p> <p>メニューブライトネス : -10 ~ 0 ~ +10 メニューコントラスト : 0.50 ~ 1.50</p>
メッセージ	<p>メモリー番号、入力信号、その他様々な情報を投影画面に表示するかを設定します (☞ 62 ページ)</p> <p>選択項目：オン/オフ</p>
トリガーアウト	<p>TRIGGER OUT 端子を設定します</p> <p>外部機器制御用の TRIGGER OUT 端子の 12V 電圧出力を、ランプやファンに同期してオン/オフし、〔RS-232C〕 選択時には RS-232C 端子からの制御によりオン/オフします。</p> <p>選択項目：ランプ連動 / ファン連動 / RS232C</p>
通信速度	<p>RS-232C 端子の通信速度を設定します</p> <p>この設定は次回起動時から有効となります。</p> <p>選択項目：9600bps / 19200bps / 38400bps / 57600bps / 115200bps</p>

メニューアイテムの操作

◆ 操作ボタンの機能

メニューの操作はリモコンまたは本体のボタンで行います。各ボタンには次の機能が割り当てられています。

リモコン



① MENU ボタン

メニューを開く（または閉じる）

② カーソルボタン

+ / -（カーソルの左右移動）

- メニューグループを選ぶ
- サブメニューを開く（または閉じる）
- 設定値を選ぶ（または変更する）

△ / ▽（カーソルの上下移動）

- メニューアイテムを選ぶ
- 設定値を選ぶ（または変更する）

③ ↵ ボタン

- 変更した設定値を確認する
- メニューが開いていない状態で、インライン画質メニューを開く
- 特殊なメニューアイテムの操作（[42ページ](#)）とメモリー操作（[48ページ](#)）

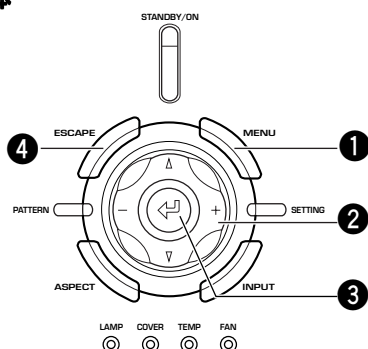
④ ESCAPE ボタン

- カーソルがひとつ上の階層に戻る
（例：メニューアイテムの階層からメニューグループの階層に戻る）。
- サブメニューを閉じる
- カーソルがメニューグループにあるとき、メニュー画面を閉じる
- メニューを移動した後、メニュー移動バーからメニュー入力画面に戻す

⑤ RESET ボタン（リモコンのみ）

パラメーターを初期値に戻す（初期設定のないアイテムは戻りません）。

本体



◆ メニューアイテムの操作 1 (サブメニューがない場合)

選サブメニューがないメニューアイテムの操作は、次の3段階の操作で設定を行います。

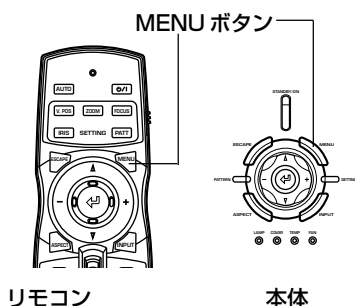
**メニューグループ(画質・信号・初期・設置)を選びます
(+または-ボタンで選択)**

選んだメニューグループに対応するアイテムが表示されます。

**設定または調整するアイテムを選びます
(△または▽ボタンで選択)**

選んだアイテムの値が変更できるようになります。

**選んだアイテムの値を選びます
(基本的には+または-ボタンで選択)**



リモコン

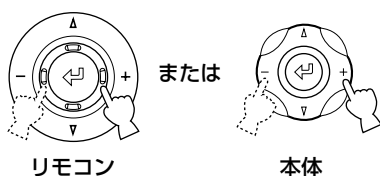
本体

1. メニューボタンを押してメニュー画面を開きます。

メモ

- メニュー画面は、前回メニューを終了した時点で選択されていたメニューグループとメニューアイテムが、そのままの状態が開きます。

メニューの移動			
画質	信号	初期	設置
黒レベル	0	[Slider]	
白レベル	0	[Slider]	
ガンマ	a	b	c d e
色あい	0	[Slider]	
色の濃さ	100	[Slider]	
シャープネスゲイン	2	[Slider]	
シャープネスタイプ	2	[Slider]	
色調整	WRGB	6500K ±0.000uv	
ホワイトピーキング	0	[Slider]	
アイリス	[Icons]		
レベル調整	[Icons]		
		メモリー1	VIDEO



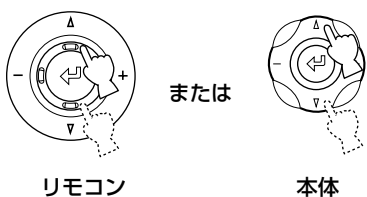
リモコン

本体

2. +/-ボタンを押してメニューグループを選びます。

右の画面は〔設置〕グループを選択した場合の表示例です。

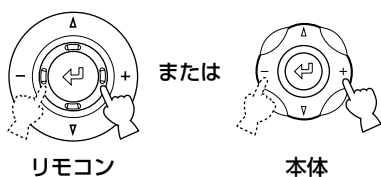
メニューの移動			
画質	信号	初期	設置
設置状態	フロント / テーブル		
縦方向台形補正	0	[Slider]	
横方向台形補正	0	[Slider]	
リモコン受光部	前&後		
リモコンID	ID 1		
レンズ調整ロック	オフ	オン	
ランプパワー	82	[Slider]	
メニューカラー	カラー		
メッセージ	オフ	オン	
トリガーアウト	ランプ連動		
通信速度	115200bps		
		メモリー1	VIDEO



3. △/▽ボタンを押して設定するアイテムを選びます。

右の画面は〔レンズ調整ロック〕アイテムを選択した場合の表示例です。

メニューの移動			
画質	信号	初期	設置
設置状態		フロント / テーブル	
縦方向台形補正	0	[Slider]	
横方向台形補正	0	[Slider]	
リモコン受光部		前&後	
リモコンID		ID 1	
レンズ調整ロック		オフ	オン
ランプパワー	82	[Slider]	
メニューカラー		カラー	
メッセージ		オフ	オン
トリガーアウト		ランプ連動	
通信速度		115200bps	
		メモリー1	VIDEO



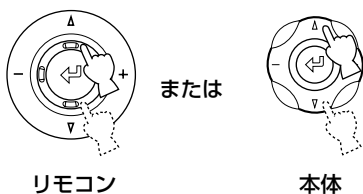
4. + / - ボタンを押して好みの設定をします。

右の画面は〔レンズ調整ロック〕のオンを選択した場合の表示例です。

メニューの移動			
画質	信号	初期	設置
設置状態		フロント / テーブル	
縦方向台形補正	0	[Slider]	
横方向台形補正	0	[Slider]	
リモコン受光部		前&後	
リモコンID		ID 1	
レンズ調整ロック		オフ	オン
ランプパワー	82	[Slider]	
メニューカラー		カラー	
メッセージ		オフ	オン
トリガーアウト		ランプ連動	
通信速度		115200bps	
		メモリー1	VIDEO

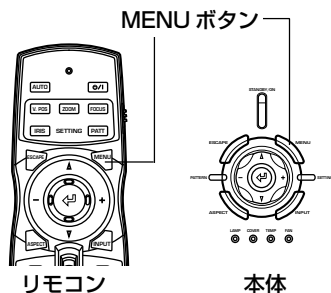
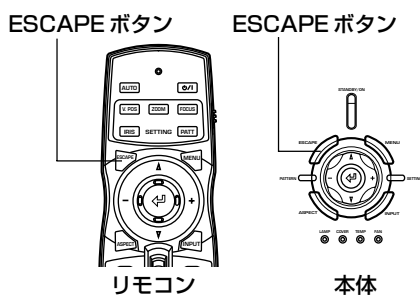
メモ

- ・ 選択したアイテムにより、設定のしかたが異なります。



5. 必要に応じて、別のアイテムを設定します。

同じグループ内の別のアイテムを設定するには、△または▽ボタンを押して、設定するアイテムへ移動します。別のメニューグループのアイテムを設定するには、ESCAPEまたは△ボタンで、今いるメニューグループの先頭に戻り、手順2、3、4に従って設定をします。



6. 設定が完了したら、MENU ボタンを押してメニュー画面を閉じます。

◆ メニューアイテムの操作2 (サブメニューがある時)

サブメニューがあるメニューアイテムを設定する場合は、次の手順で操作します。

1. 「メニューアイテムの操作1」の手順1～3に従って設定するアイテムを選びます。

右の画面は「初期」グループの「表示言語」アイテムを選択した場合の表示例です

メモ

- ・ サブメニューがある場合、アイテム名の右横に ↑マークが表示されます。

メニューの移動		
画質	信号	初期 設置
カラー信号方式		オート
INPUT A 入力信号		RGB PC
INPUT A 同期タイプ		オート
INPUT B 入力信号		RGB TV
INPUT B 同期タイプ		オート
HDMI 信号		コンポーネント
DVI 信号		RGB TV
自動パワーオフ	オフ	オン
自動入力切替	オフ	オン
表示言語		日本語 ↑
ランプ点灯時間		0 時間
リセット		
		メモリー1 VIDEO

2. + ボタンを押してサブメニューに移動します。

メモ

- ・ サブメニューの下層にさらに選択アイテムがある場合があります。この場合は+ボタンを押して下層のアイテムに移動します。

メニューの移動		
画質	信号	初期 設置
		日本語
		English
		Deutsch
		Español
		Français
表示言語		Italiano
		Portuguêsa
		한국어
		中文
		メモリー1 VIDEO

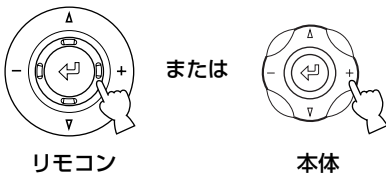
3. △/▽ボタンを押して選択したアイテムの値を設定します。

メモ

- ・ メニュー画面左下の操作ガイドに「決定」と表示された場合は、決定ボタンを押して変更した設定を確定します。

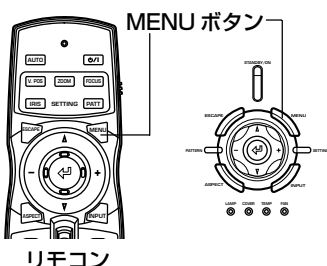
Move Menu Window			
Image	Signal	Initial	Setup
			日本語
			English
			Deutsch
			Español
			Français
Display Language			Italiano
			Portuguêsa
			한국어
			中文
			Memory 1 VIDEO

4. - ボタンまたは ESCAPE ボタンを押すと上の階層のアイテムに戻ります。
5. 設定が完了したら、MENU ボタンを押してメニュー画面を閉じます。



設定に決定ボタンを使うアイテム

- 表示アスペクト
- カラー信号方式
- INPUT A 入力信号
- INPUT A 同期タイプ
- INPUT B 入力信号
- INPUT B 同期タイプ
- HDMI 入力信号
- DVI 信号
- リモコン受光部
- リモコン ID



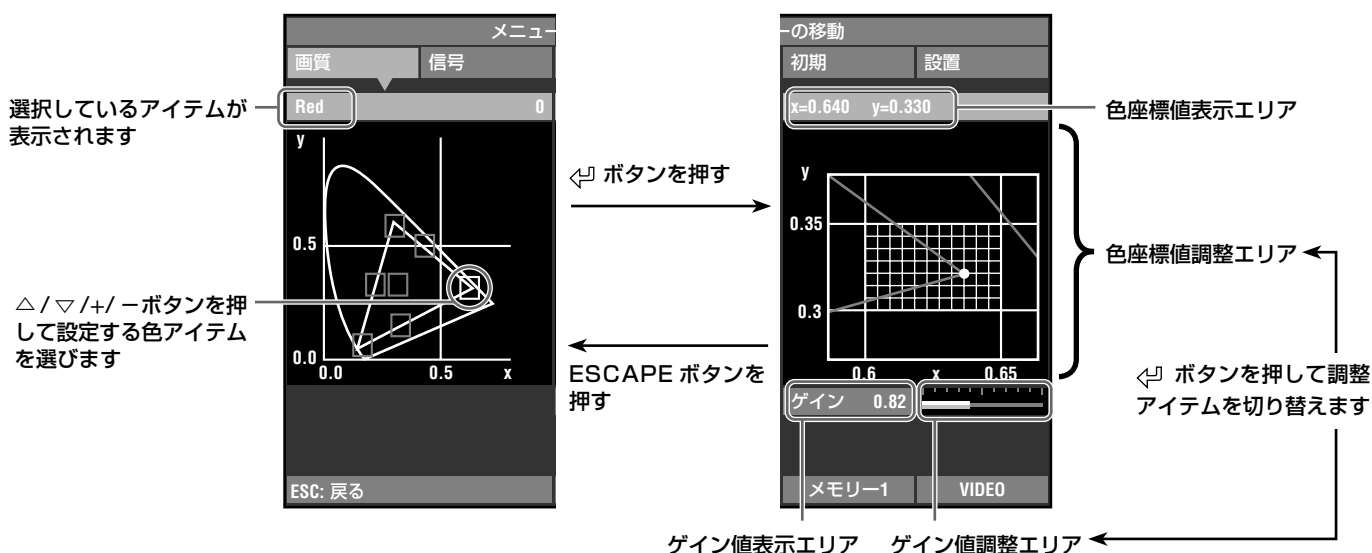
◆ 特殊な操作

メニューアイテムには、特殊な設定操作を必要とするものがあります。

<色調整>

操作例：R（レッド）の調整

1. メニュー画面から〔画質〕グループの〔色調整〕を選びます。
2. +ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して〔標準〕、〔WRGB〕、〔WRGBYCM〕の中からアイテムを選び、+ボタンを押して下層の選択アイテムに移動します。
ここでは例として〔WRGBYCM〕の設定を行います。
4. △/▽/+/-ボタンを押して色度図で設定する色アイテムを選び、↵ボタンを押します。
メニュー画面右側の色座標値調整エリアがハイライトされます。
5. △/▽/+/-ボタンを押して色度値を設定します。
6. 手順4でR（レッド）、G（グリーン）、B（ブルー）、Y（イエロー）、C（シアン）、M（マゼンタ）を選んだ場合は、↵ボタンを押して調整アイテムをゲイン調整エリアに切り替え、+/-ボタンを押してゲイン値を設定します。
7. ESCAPE ボタンを押して色度図に戻ります。



メモ

- ・ 各アイテムの設定項目について詳しくは、32ページをご覧ください。

操作例：色温度固定モードを使用する

〔WRGB〕を選択している場合、RGBのゲインの調整にあわせて色温度が変化しますが、この色温度固定モードを使用すると色温度を固定してRGBゲインの調整が可能です。

1. メニュー画面から〔画質〕グループの〔色調整〕を選びます。
2. +ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. Δ/∇ ボタンを押して〔標準〕、〔WRGB〕、〔WRGBYCM〕の中から〔WRGB〕を選び、+ボタンを押して下層の選択アイテムに移動します。
4. $\Delta/\nabla/+/-$ ボタンを押して色度図で設定するW（色温度と白色補正）を選び、 \leftarrow ボタンを押します。

メニュー画面右側の色座標値調整エリアが、白くハイライトされます。

5. $\Delta/\nabla/+/-$ ボタンを押して色度値を設定します。

6. \leftarrow ボタンを押して、色温度固定モードに入ります。

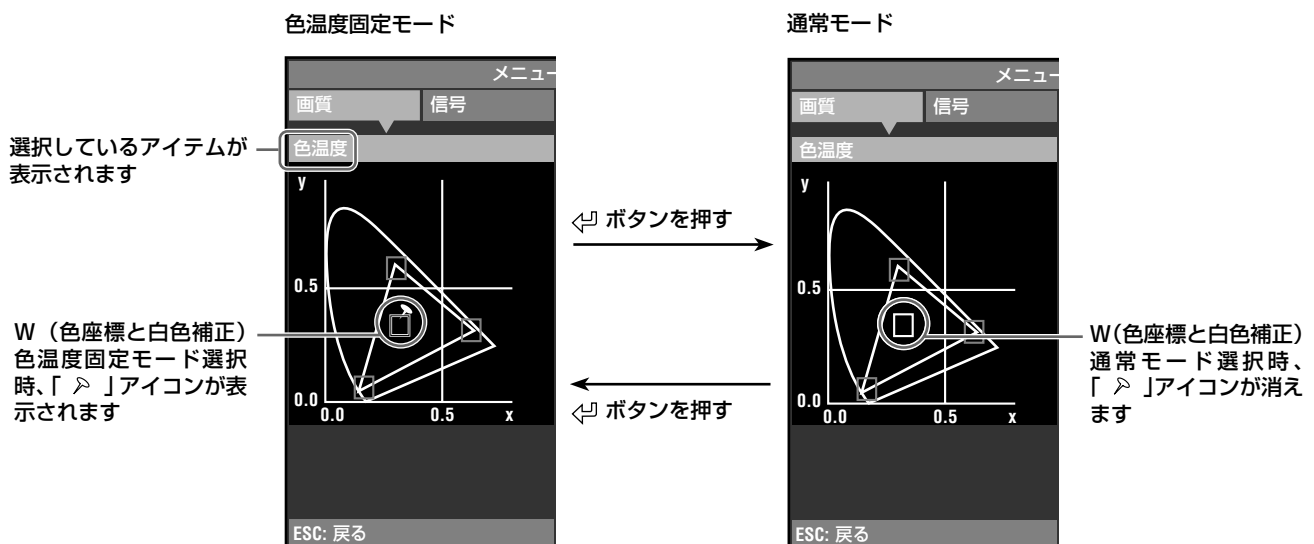
メニュー画面左側のW（色温度と白色補正）に「 \rightarrow 」アイコンが表示されます。

メモ

- ・ 色温度固定モード選択時に、 $\Delta/\nabla/+/-$ ボタンを押して色温度を調整しようとする、「色温度は固定されています」というメッセージがメニュー画面下に表示されます。
- 7. ESCAPEボタンを押して色度図に戻り、R（レッド）、G（グリーン）、B（ブルー）の三原色の色座標の調整をします。調整方法については、「操作例：R（レッド）の調整」（42ページ）の手順4～5をご覧ください。

メモ

- ・ 色温度固定モードを使用して色調整を行う場合は、ゲイン値調整エリアは表示されません。
- ・ 色温度固定モードを解除して通常モードに切り替えるには、W（色座標と白色補正）を選択し、「 \rightarrow 」アイコンが消えるまで \leftarrow ボタンを押します。



＜選択したアイテムを初期化する＞

メニューアイテムで変更した各種設定の中から初期設定に戻したいアイテムだけを選んで初期化します。

1. メニュー画面から初期設定に戻したいアイテムを開きます。
2. リモコンのRESET ボタンを押して、選択したアイテムの設定を初期値に戻します（初期設定のないアイテムは戻りません）。

メモ

- ・〔色調整〕で〔WRGBYCM〕を選択している場合、RESET ボタンは特殊なはたらきをします。（[P.32](#) ページ）
- ・〔色調整〕で〔WRGB〕または〔WRGBYCM〕を選択後、色座標調整エリアを選択した状態でRESET ボタンを押した場合、入力信号の種類（HDTV、SDTV）に応じて設定が初期値に戻ります。（[P.32](#) ページ）

＜すべてのアイテムを初期化する＞

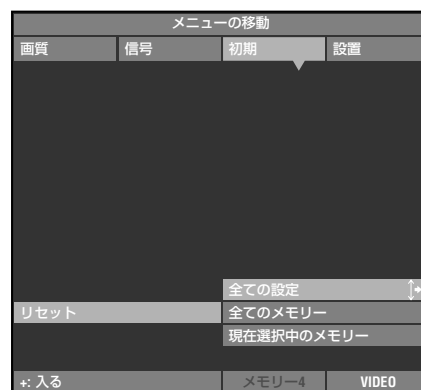
メニューアイテムで変更した各種設定をすべて工場出荷状態に戻します。

1. メニュー画面から〔初期〕グループの〔リセット〕→サブメニューの〔全ての設定〕を選びます。

2. + ボタンを押して確認画面を開きます。
3. ← ボタンを押すと工場出荷状態に戻ります。

メモ

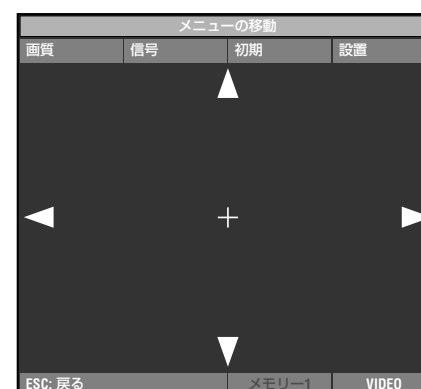
- ・操作をキャンセルして前の画面に戻るには、ESCAPEボタンを押します。



＜メニュー画面位置の移動＞

投影画面に表示されるメニューの位置を移動します。

1. メニュー画面が開いた状態でESCAPEまたは△ボタンを押して、カーソルをメニューグループのいずれかへ移動します。
2. △ボタンを押して〔メニューの移動〕に入ります。
3. △/▽/+/- ボタンを押してメニュー画面をお好みの位置に移動します。
4. ESCAPE ボタンを押して元のメニュー画面に戻ります。



<ランプ点灯時間のリセット>

ランプ点灯時間（積算使用時間）の表示を0に戻します。

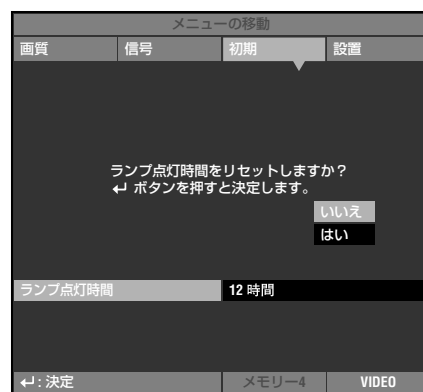
1. メニュー画面から〔初期〕グループの〔ランプ点灯時間〕を選択します。



2. +ボタンを押して確認画面を開きます。
3. △/▽ボタンを押して〔はい〕を選びます。
4. ◀ボタンを押してランプ点灯時間を0に戻します。

メモ

- 操作をキャンセルしてメニュー画面に戻るには、〔いいえ〕を選んで◀ボタンを押します。



<字幕ズームの調整>

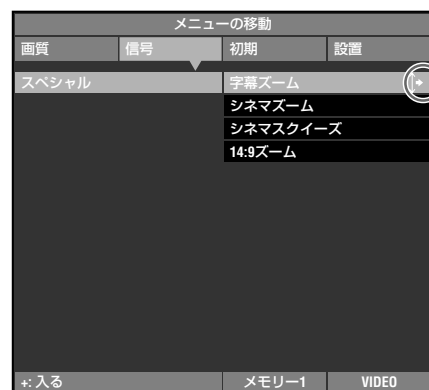
〔字幕範囲〕では字幕範囲の調整を、〔垂直スクロール〕では字幕位置の調整をすることができます。

1. メニュー画面の〔信号〕グループから〔表示アスペクト〕→サブメニューの〔スペシャル〕を選びます。
2. +ボタンを押して下層の選択メニューに移動します。
3. △または▽ボタンを使って、〔字幕ズーム〕を選びます。
4. ◀ボタンを押します。

〔字幕ズーム〕の右横に↕マークが表示されます。

メモ

- 一度この操作を行えば、次回以降↕マークが自動的に表示されます。◀ボタンを押す必要はありません。



5. +ボタンを押してさらに下層の選択メニューに入ります。
6. △/▽ボタンを押して〔字幕範囲〕または〔垂直スクロール〕を選びます。
7. +/-ボタンを押して、手順6で選択したアイテムの設定を調整します。

メモ

- ・ 字幕ズーム内の別のアイテムに移動するには、△/▽ボタンを押します。

8. ESCAPE ボタンを押して上層の選択メニューに戻ります。



<ガンマ補正の設定>

10種類のパターンから使用するガンマ補正（映像の色調や階調の応答特性）を選びます。（※ 30 ページ）

1. メニュー画面から〔画質〕グループの〔ガンマ〕を選びます。
2. ⇐ ボタンを押して大文字 (A~E) と小文字 (a~e) のページを切り替えます。
3. +/- ボタンを押してお好みのガンマ補正を選びます。



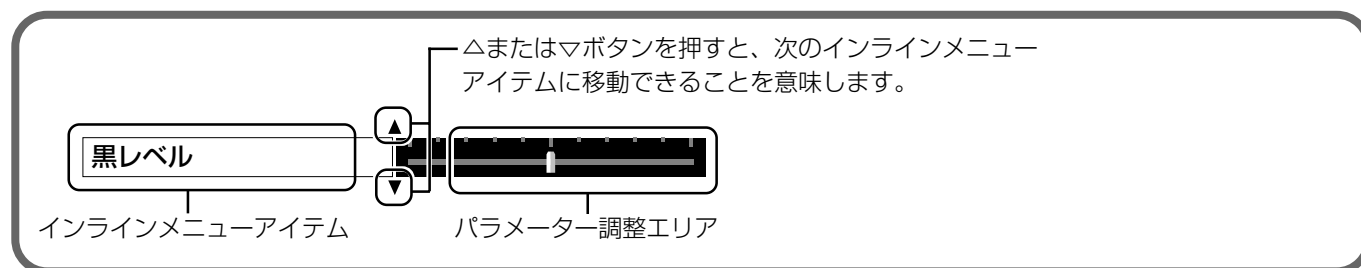
⇐ ボタンを押す



◆ インラインメニューで画質を調整する

インラインメニューを利用すれば、画像投影中でも視聴を妨げることなく画質調整が行えます。各アイテムの設定内容については「各メニューグループのアイテムと機能」(30ページ～)をご覧ください。

<インラインメニューの構成>



<インラインメニューアイテム一覧>

選択可能なアイテムは入力信号によって異なります。

ビデオ系ソース		PC系ソース
黒レベル	シャープネスゲイン	ブライトネス
白レベル	シャープネスタイプ	コントラスト
ガンマ	ホワイトピーキング	ガンマ
色あい	アイリス	色温度
色の濃さ		白色補正
色温度		ホワイトピーキング
白色補正		アイリス

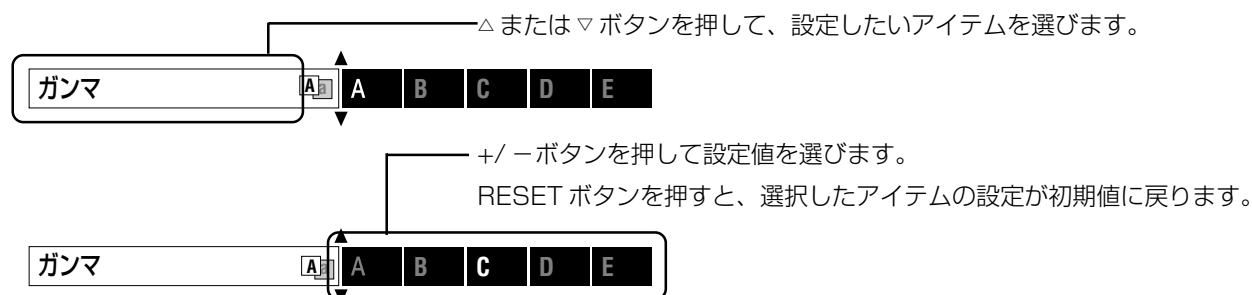
メモ

- ・ [シャープネスゲイン] が [0] の時は [シャープネスタイプ] の調整はできません。

<インラインメニューの操作例>

1. メニュー画面が開いていない状態で、 \leftarrow ボタンを押します。

画質メニューアイテムが画面下部に1つずつ表示されます。5秒以内に操作しないと、メニュー表示は消えます。



2. 設定が完了したら、ESCAPE ボタンを押してメニュー表示を閉じます。

メモ

- ・ ガンマ補正の設定時、ページ (大文字 / 小文字) を切り替えるには、 \leftarrow ボタンを押します。

10 メモリー機能(保存、呼出し、メモリーロック、コピー、初期化)

本機には、設定した画質および信号のパラメータを自動保存するメモリー機能が備わっています。メモリー機能で保存される設定は下表「メモリーアイテム一覧」のとおりです。

◆メモリーの構成

メモリー機能は6つのメモリー番号で構成されています。各メモリー番号に異なる条件(端子、入力信号の種類)の設定を1つずつ保存できるため、最大90通りの設定を保存することが可能です。

各端子のメモリー構成

端子	入力信号の種類	利用できるメモリー数
VIDEO	—	6
S VIDEO	—	6
INPUT A	SDTV	6
	HDTV	6
	RGB PC	6
INPUT B	SDTV	6
	HDTV	6
	RGB PC	6
HDMI	SDTV	6
	HDTV	6
DVI	SDTV	6
	HDTV	6
	RGB PC	6
D4	SDTV	6
	HDTV	6
	計	90

メモリーアイテム一覧

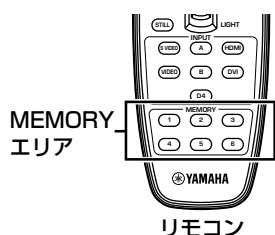
画質	信号
黒レベル(ブライトネス)	3次元Y/C分離
白レベル(コントラスト)	プログレッシブモード
ガンマ	色空間変換
色の濃さ	セットアップレベル
色あい	オーバーシュート抑制レンジ
色温度	オーバーシュート抑制レベル
白色補正	ノイズリダクションタイプ
シャープネスゲイン	ノイズリダクションレベル
シャープネスタイプ	水平方向表示位置
色調整	垂直方向表示位置
ホワイトピーキング	信号レベル
アイリス	
レベル調整	

◆メモリーの保存

メモリー番号の1~6には、それぞれ初期設定があります。メニューアイテムの設定を変更すると、選択しているメモリー番号の内容も自動的に変更されるため、特に保存操作を行う必要はありません。ただし、頻繁に使用するメモリーなど、内容を変更したくないメモリーがある場合は、該当メモリーをロックしておくことをおすすめします。(P.50 ページ)

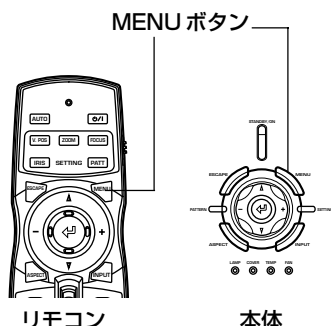
◆メモリー番号の呼出し

<リモコンで操作する場合>

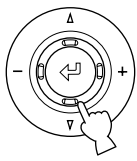


1. MEMORY エリアの1~6の中から使いたいメモリー番号のボタンを押します。

<メニューで操作する場合>

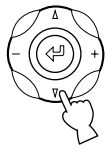


1. メニュー画面から〔画質〕または〔信号〕グループを選びます。



リモコン

または

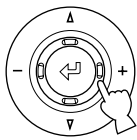


本体

2. ▽ ボタンを押して画面最下部のメモリー番号ステータスを選びます。

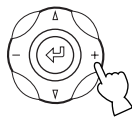


メモリー番号ステータス



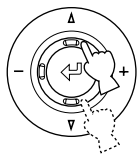
リモコン

または



本体

3. + ボタンを押してサブメニューを開きます。



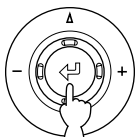
リモコン

または



本体

4. △ / ▽ ボタンを押して呼び出すメモリー番号を選びます。



リモコン

または



本体

5. ◀ ボタンを押して、選択したメモリー番号の内容を呼び出します。

メモ

- 同じ入力端子で解像度が変化した場合、解像度に応じた同じ番号のメモリーが自動的に呼び出されます。

◆ メモリーロック

メモリーに記憶されている情報を、誤って上書きしないようにロックすることができます。メモリーロックはメモリー番号別、SDTV/HDTV/RGB-PCの解像度別に設定できます。

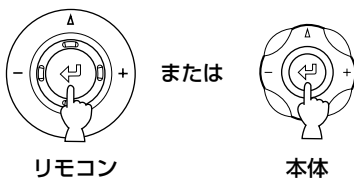
<メモリーをロックする>

1. ロックしたいメモリー番号を呼び出します。

2. ▽ ボタンを押して画面最下部のメモリー番号ステータスを選びます。

3. ⇐ ボタンを押します。

🔒 が表示され、選択している番号のメモリーがロックされます。



🔒 が表示されます

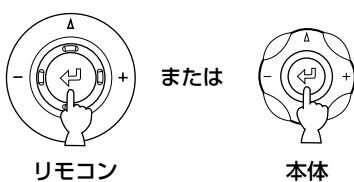
<メモリーロックを解除する>

1. ロックを解除したいメモリー番号を呼び出します。

2. ▽ ボタンを押して画面最下部のメモリー番号ステータスを選びます。

3. ⇐ ボタンを押します。

🔒 がメモリー番号ステータス画面から消え、選択しているメモリー番号のロックが解除されます。



🔒 が消えます

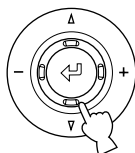
メモ

- メモリーがロックされた状態でも、一時的に設定内容を変更することができます。ただし、変更した内容は電源を切ったり、メモリー番号を変更した時点で破棄されます。(メモリーロックした状態でメニューアイテムの設定を変更した場合、メモリー番号ステータスの文字色は白からグレーに変わります。)

◆ メモリーコピー

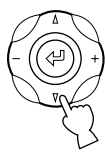
任意のメモリー番号の設定内容を別のメモリー番号へコピーします。

1. コピー元となるメモリー番号を呼び出します。



リモコン

または

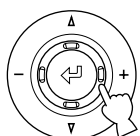


本体

2. ▽ ボタンを押して画面最下部のメモリー番号ステータスを選びます。

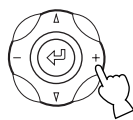
メニューの移動			
画質	信号	初期	設置
黒レベル	0		
白レベル	0		
ガンマ	a	b	c d e
色あい			
色の濃さ	100		
シャープネスゲイン	2		
シャープネスタイプ	2		
色調整	WRGB	6500K ±0.000uv	
ホワイトピーキング	0		
アイリス			
レベル調整			
+: 入る		メモリー-1	VIDEO

メモリー番号ステータス



リモコン

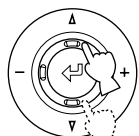
または



本体

3. + ボタンを押してサブメニューを開きます。

メニューの移動			
画質	信号	初期	設置
メモリー-1			
メモリー-2			
メモリー-3			
メモリー-4			
メモリー-5			
メモリー-6			
←: 決定		メモリー-6	VIDEO



リモコン

または



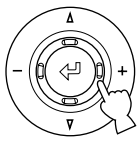
本体

4. △ / ▽ ボタンを押してコピー先となるメモリー番号を選びます。

メモ

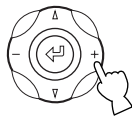
- コピー元のメモリー番号(文字色がグレーで表示)をコピー先として選ぶことはできません。
- ロックされているメモリー番号(🔒 が表示)をコピー先として選ぶことはできません。ロックの解除方法については、「メモリーロックを解除する」(50ページ)をご覧ください。

メニューの移動			
画質	信号	初期	設置
メモリー-1			
メモリー-2			
メモリー-3			
メモリー-4			
メモリー-5			
メモリー-6			
←: 呼出し + : コピー		メモリー-6	INPUT A



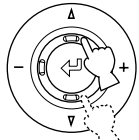
リモコン

または



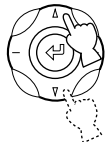
本体

5. +ボタンを押して確認画面を開きます。



リモコン

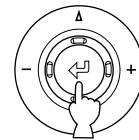
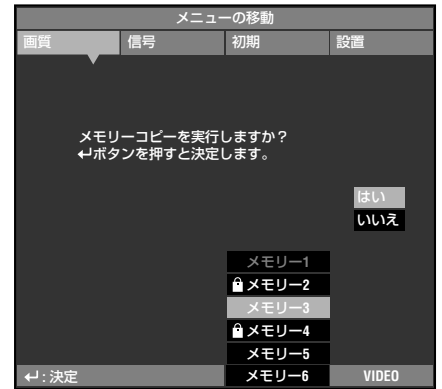
または



本体

6. △/▽ボタンを押して〔はい〕を選びます。

操作をキャンセルしてメモリー番号選択画面に戻るには、〔いいえ〕を選ぶかESCAPEボタンを押します。



リモコン

または



本体

7. ←ボタンを押します。

コピー元の設定内容がコピー先として選択したメモリー番号へコピーされます。コピーが完了すると、画面の表示がコピー元のメモリー番号に戻ります。



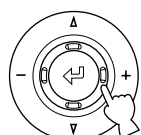
◆ 初期設定に戻す

記憶したメモリーを初期設定の状態に戻します。

<選択しているメモリー番号のリセット>

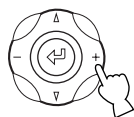
選択しているメモリー番号の設定内容（入力中の端子および入力信号の種類に対応する設定のみ）を初期値に戻します。

1. メニュー画面から〔初期〕グループの〔リセット〕→サブメニューの〔現在選択中のメモリー〕を選びます。



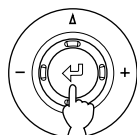
リモコン

または



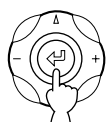
本体

2. +ボタンを押して確認画面を開きます。



リモコン

または



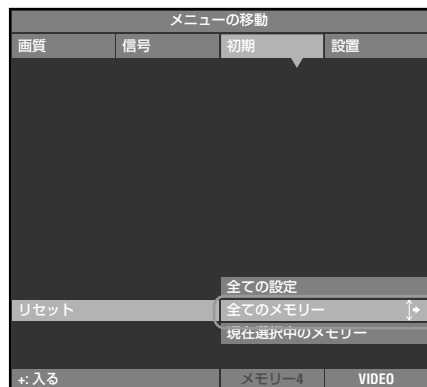
本体

3. ← ボタンを押して現在選択しているメモリー番号の設定内容を初期値に戻します。

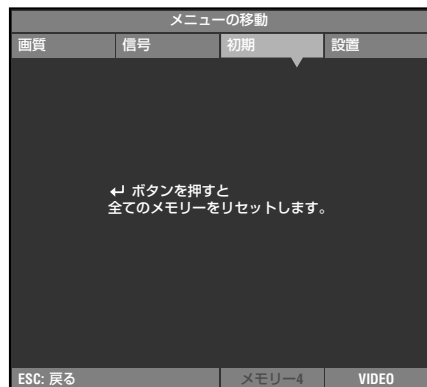
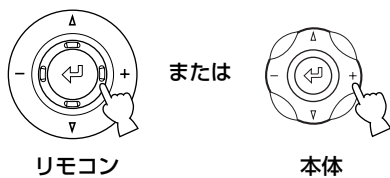
<すべてのメモリー番号（1～6）のリセット>

入力中の端子および入力信号の種類に関係なく、すべてのメモリー番号の設定内容を初期値に戻します。

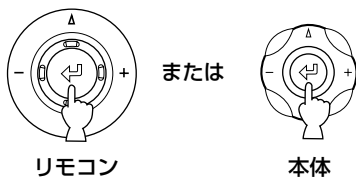
1. メニュー画面から〔初期〕グループの〔リセット〕→サブメニューの〔全てのメモリー〕を選びます。



2. +ボタンを押して確認画面を開きます。



3. ← ボタンを押してすべてのメモリー番号の設定内容を初期値に戻します。



用語解説

プロジェクターに関して、映像信号と基本操作に関連したキーワードをまとめてみました。取り扱いの際の参考にしてください。なお、メニューの中の用語については、「各メニューグループのアイテムと機能」(P.30 ページ〜)で説明しています。

●アスペクト / ASPECT

画像の縦横比をアスペクト比という。

●色空間変換

カラー信号を伝送する YPbPr 色差信号を RGB 信号に変換することをいい、その際の係数は SDTV の BT.601 系信号と HDTV の BT.709 系信号では微妙に異なるので、本機ではこれを必要に応じて切替えることができる。

●インターレース

通常のテレビジョンの走査方式で、一画面を偶数奇数の二つのフィールドに分けて走査し、この二つのフィールドでひとつの画面(フレーム)を構成する。

●コンポーネントビデオ信号

輝度信号と色信号を独立して伝送する方式で、通常のコンポジットビデオ信号に比べ、混合・分離回路を経由しないので高品質の情報が得られる。輝度信号(Y)と二つの色差信号(Pb/Cb, Pr/Cr)の三本のラインで伝送される。

●コンポジットビデオ信号

ビデオ信号の最も一般的な伝送方式で、輝度信号と色信号を合成して、一本のラインで伝送する。送受信側の両方で混合・分離のプロセスが必要となる。接続にはピンケーブルが用いられる。

●シネマスコープサイズ

70mm のフィルムを用いて撮影された最も横長のサイズで、アスペクト比は 2.35 : 1 である。

●スクイーズ

横長の映画フィルムをビデオソフトにする際に、水平方向を 4 : 3 のサイズに入れるように圧縮して収録すること。そのままでは縦長の映像となるので、再生に際しては圧縮をもとに戻す回路を通して見る必要がある。

●スタンバイ

本体とリモコンからの電源オンの信号を受信するための回路だけをアクティブにし、その他の主回路はオフの状態にある時(待機状態)のこと。待機状態の時わずかな電力を消費する。

●スマートズーム

入力された 4 : 3 の映像をワイドに投影したい場合、中央部分はほぼそのままに、両端部分を引伸ばして 16 : 9 の横長サイズにすること。両端部分では若干の歪みをとまう。

●台形補正 / Keystone

本機設置時にスクリーンに対して投影角度が直角でない、画面が台形に歪む。この歪みを電子的に補正するのが台形補正である。

●テストパターン

スクリーンに投影する映像の位置やフォーカス等を調整するために、試験的に投影する内蔵されたパターンである。

●天吊金具

本機を天井から吊るして設置する場合に使用する別売りの専用吊り金具。設置高さにより、低天井用と高天井用の 2 種類がある。

●同期 (Sync.)

コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力され、その周波数にプロジェクターの周波数を合わせることでより美しい映像を再現する。信号の位相を合わせることを同期を合わせるといい、同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが現れる。

●トラッキング

コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力され、その周波数にプロジェクターの周波数を合わせることでより美しい映像を再現する。信号の周波数を合わせることをトラッキングを合わせるといい、トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縞模様が出る。

●ビスタサイズ

映画フィルムのサイズのひとつで、アスペクト比は北米で 1.85 : 1、ヨーロッパでは 1.66 : 1 である。

●プログレッシブ

1 つの画面(フレーム)のすべての走査線を一度に表示するもので、大画面にすると気になるチラツキがなく、緻密で滑らかな映像が得られる。本機での投影は、すべてこのプログレッシブ方式で行なわれる。

●レターボックス

横長の映画コンテンツを 4 : 3 の信号に収める方法のひとつで、画面の上下に黒い帯を入れることにより横長の映像をトリミングなしで見ることができる。ただし、垂直の解像度は若干犠牲となる。

●D 端子

最新 AV 機器間での映像信号伝送に用いられる端子で、コンポーネントビデオ信号を一本の専用ケーブルで接続できる。その性能に応じて D1 から D5 に分けられる(本機は D4 対応)。

●DLP™ 方式

米国 TI 社で開発した DMD™ 素子を用いたプロジェクターの画像表示エンジンとしての呼称。Digital Light Processing の略。

●DVI 端子

Digital Visual Interface の略。コンピューター機器または AV 機器からのデジタル映像信号を出力する端子で、24 ピンの専用端子とケーブルを使用して接続できる。

●EDTV

Extended Definition Television の略。次の条件を満たす映像機器に適用される。

- ・解像度 480p、576p (p はプログレッシブ走査)。
- ・画面のアスペクト比は 4 : 3 または 16 : 9

●HDCP

High-bandwidth Digital Content Protection の略。HDMI や DVI によって接続された機器間で、不正コピーを防ぐためのコンテンツ保護技術である。

● HDMI™

High-Definition Multimedia Interfaceの略。AV機器からのコンポーネント/RGB映像を圧縮せずに、デジタル伝送するインターフェースのこと。

● HDTV

High-Definition Televisionの略。次の条件を満たす高精細なシステムに適用される。

- ・ 垂直解像度 720p、1080i (p はプログレッシブ走査、i はインターレース走査)。
- ・ 画面のアスペクト比は 16 : 9

● RGB 信号

赤、緑、青の光の三原色を数値化し、個別にその色情報を伝送する方式。受信側ではそれを加色混合して、さまざまな色を表現する。コンピューター間でのカラー画像の授受に広く用いられる。水平・垂直の同期信号も併せて必要となる。

● Sビデオ信号

輝度信号 (Y) と色信号 (C) を分離して伝送する方式。接続には専用の端子 (4ピンミニDIN) とケーブルを使用する。S は Separate の略。

● SDTV

Standard Definition Televisionの略。次の条件を満たす映像機器に適用される。

- ・ 解像度 480i、576i (i はインターレース走査)。
- ・ 画面のアスペクト比は 4 : 3 または 16 : 9

● 3-2 プルダウン検出型 IP 変換

映画フィルムと同じ24フレームで記録された映像ソースが、60フィールドのインターレース信号で入力された場合にそれを検出・判断して、60フレームのプログレッシブ信号へと直接変換する機能である。これにより、24フレームで記録されたDVDソフトなどを大画面に映し出す場合にも、映画フィルムの質感を損なわず、自然で緻密な映像として再生できる。

* DLP™、DMD™、DarkChip2™、DarkChip3™は米国TI社の登録商標です。



* HQV™、Hollywood Quality Video™、HQV powered by Teranex™はSilicon Optix社の商標です。



* HDMI™はHDMI Licensing, LLCの登録商標です。

投影できる信号

下記は、本機で投影可能な信号の種類・フォーマットの一覧表です。

これ以外の信号に対しては、正しい投影が出来なくなる場合がありますのでご注意ください。

◆ TVフォーマット 1 (入力端子VIDEO、S VIDEOへのコンポジットまたはSビデオ信号入力)

信号の種類	V active (lines)	f (V) (Hz)	fsc (MHz)	カラー方式
NTSC	480	59.94	3.580	NTSC
PAL	576	50.00	4.430	PAL
SECAM	576	50.00	4.406, 4.250	SECAM
PAL60	480	59.94	4.430	PAL
NTSC4.43	576	59.94	4.430	NTSC
PAL-M	480	59.94	3.580	PAL
PAL-N	576	50.00	3.580	PAL

◆ TVフォーマット 2 (入力端子INPUT A、INPUT Bへのコンポーネント/RGB TV信号入力およびD4へのコンポーネント信号入力)

信号の種類	H active (pixels)	V active (lines)	f (H) (kHz)	f (V) (Hz)
480i	720	480	15.734	59.940
576i	720	576	15.625	50.000
480p	720	480	31.469	59.940
576p	720	576	31.250	50.000
720p/50Hz	1280	720	37.500	50.000
720p/60Hz	1280	720	44.955	59.940
1080i/50Hz	1920	1080	28.125	50.000
1080i/60Hz	1920	1080	33.716	59.940

◆ PC フォーマット (入力端子 INPUT A、B へのアナログ RGB PC 信号入力)

	信号の種類	H active (pixels)	V active (lines)	f (H) (kHz)	f (V) (Hz)
VESA(*1)	VGA/60Hz	640	480	31.469	59.940
	VGA/72Hz	640	480	37.861	72.809
	VGA/75Hz	640	480	37.500	75.000
	VGA/85Hz	640	480	43.269	85.008
	SVGA/56Hz	800	600	35.156	56.250
	SVGA/60Hz	800	600	37.879	60.317
	SVGA/72Hz	800	600	48.077	72.188
	SVGA/75Hz	800	600	46.875	75.000
	SVGA/85Hz	800	600	53.674	85.061
	XGA/60Hz	1024	768	48.363	60.004
	XGA/70Hz	1024	768	56.476	70.069
	XGA/75Hz	1024	768	60.023	75.029
	XGA/85Hz	1024	768	68.677	84.997
Macintosh(*2)		640	480	35.000	66.666

(* 1) VESAは Video Electronics Standards Associationの登録商標です。

(* 2) Macintoshは Apple Computer 社の登録商標です。

◆ DVI フォーマット (DVI 端子からの RGB 信号入力)

信号の種類	H active (pixels)	V active (lines)	f (H) (kHz)	f (V) (Hz)	コンポーネント形式
VGA/60Hz	640	480	31.469	59.940	RGB
SVGA/60Hz	800	600	37.879	60.317	RGB
XGA/60Hz	1024	768	48.363	60.004	RGB
SXGA/60Hz	1280	1024	63.981	60.020	RGB
480p	720	480	31.469	59.940	RGB
576p	720	576	31.250	50.000	RGB
720/60p	1280	720	44.955	59.940	RGB
720/50p	1280	720	37.500	50.000	RGB
1080/60i	1920	1080	33.716	59.940	RGB
1080/50i	1920	1080	28.125	50.000	RGB

◆ HDMI フォーマット (HDMI 端子からのコンポーネント/RGB 信号入力)

信号の種類	H active (pixels)	V active (lines)	f (H) (kHz)	f (V) (Hz)	コンポーネント形式
VGA	640	480	31.469	59.940	RGB/YCbCr4:4:4/YCbCr4:2:2 (*3)
480i	1440 (720)	480	15.734	59.940	RGB/YCbCr4:4:4/YCbCr4:2:2 (*3)
576i	1440 (720)	576	15.625	50.000	RGB/YCbCr4:4:4/YCbCr4:2:2 (*3)
480p	720 1440	480	31.469	59.940	RGB/YCbCr4:4:4/YCbCr4:2:2 (*3)
576p	720 1440	576	31.250	50.000	RGB/YCbCr4:4:4/YCbCr4:2:2 (*3)
720/60p	1280	720	37.500	59.940	RGB/YCbCr4:4:4/YCbCr4:2:2 (*3)
720/50p	1280	720	44.955	50.000	RGB/YCbCr4:4:4/YCbCr4:2:2 (*3)
1080/60i	1920	1080	33.716	59.940	RGB/YCbCr4:4:4/YCbCr4:2:2 (*3)
1080/50i	1920	1080	28.125	50.000	RGB/YCbCr4:4:4/YCbCr4:2:2 (*3)

(* 3) YCbCr4:2:2 形式は、マニュアル設定不可、HDMI Auto モード設定の場合のみ適用されます。

メンテナンス

◆ 日常のお手入れ

お手入れの前には必ず電源コードを抜いてください。

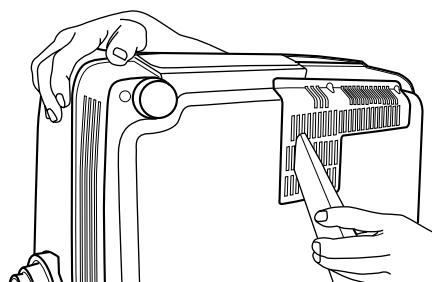
<本体>

柔らかい布で拭いてください。汚れのひどい場合は中性洗剤を水でうすめ、浸した布を固く絞って拭取り、乾いた布で仕上げてください。（シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。変質や変形の原因となります。）

<レンズ>

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽く拭き取ってください。

<フィルター>

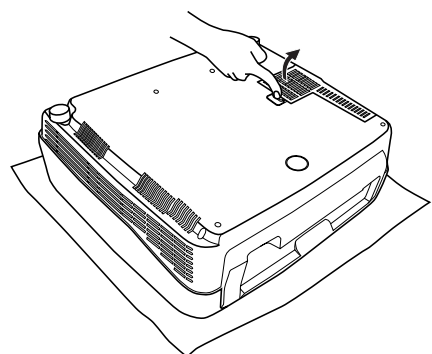


吸気口のフィルターに埃がたまると空気の流れが悪くなり、内部温度が上昇して故障の原因となります。約200時間毎に掃除を行ってください。
電源プラグをコンセントから抜いて、掃除機でフィルターの埃を吸い取ります。

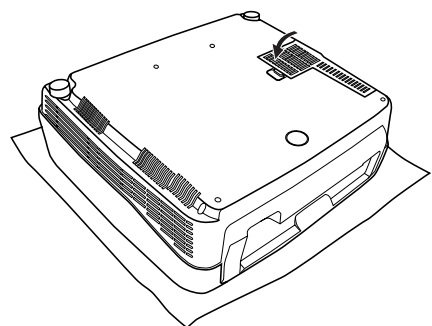
フィルターの中にごみが入らないように、必ず本機を立てたまま掃除機で埃を吸い取ってください。

◆ フィルターの交換

フィルターの埃が落ちにくくなった時は、新しいものと交換してください。



1. 電源を切り、電源コードを抜きます。
2. 傷がつかないように布などを敷き、その上に本機を注意深く裏返しに置きます。
3. 本機底面にあるフィルターのフック部分のくぼみに、指をかけて押しながらフィルターを外します。



4. 新しいフィルターをきちんと取り付けてください。取付けが不完全だと、ランプが点灯しません。

ご注意

- ・ 交換用フィルターが必要な場合には、ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。

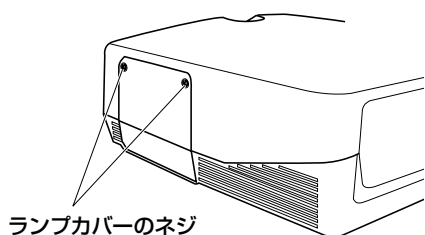
◆ ランプの交換

光源に用いられているランプは消耗品であり、使用するにしたがって徐々にその輝度が低下していきます。最良の映像をお楽しみいただくには、使用時間が2000時間になった頃を目安にランプの交換を推奨します。(使用時間2000時間とは、輝度が半減するまでの平均時間であり、保証期間ではありません。)

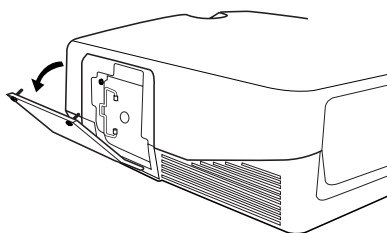
ランプの使用時間はメニュー画面〔初期〕の〔ランプ点灯時間〕で知ることができます。また、2000時間を超えるとLAMP異常インジケータが点滅します。また画面上に交換を知らせるメッセージが表示されます。この場合は、以下の手順に従ってランプカートリッジを交換してください。なお、交換用ランプカートリッジについては、お買上げ店にご相談ください。

ご注意

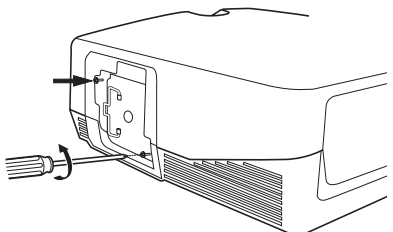
- ・ 必ず専用の交換用ランプカートリッジPJL-427をご使用ください。それ以外のものを本機で使用することはできません。
- ・ ランプの交換は天吊りユニットからプロジェクターを外してから行ってください。
- ・ ランプカートリッジの交換は電源を切り、ファン停止後電源コードを抜き、1時間後ランプが充分冷えてから行ってください。
- ・ 指定のネジ以外は外さないでください。
- ・ ランプには内部圧力の高い水銀が使用されています。使用時間の経過による劣化などで破裂したり不点灯になることがありますので、十分にご注意ください。なお、ランプが劣化したり、破裂する時間は使用環境や個体差により異なります。
- ・ 使用済みのランプカートリッジは、地域の条例にしたがって廃棄してください。
- ・ ランプは消耗品です。保証の対象とはなりませんのでご注意ください。



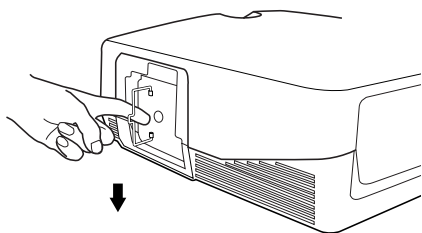
1. ランプカバーのネジをゆるめます。



2. ランプカバーを外します。



3. ランプカートリッジの2本のネジを完全にゆるめます。



4. 把手をつかみ、ランプカートリッジを引き抜き、取り出します。

5. 新しいランプカートリッジを逆の順序で元のように取付けネジを締め、しっかりと固定します。

6. ランプカバーを取付け、ネジを締めます。

カバーの取付けが不完全だとランプが点灯しませんので、確実に取り付けてください。

7. 電源を入れて投射状態になったら、メニュー画面〔初期〕の〔ランプ点灯時間〕をリセットします。(P.45 ページ)

故障かなと思ったら

症状	原因	対処方法
電源が入らない	電源コードが抜けている	➡ 電源コードをきちんと差し込む
	電源を切った直後に電源を入れようとしている	➡ 2分程度待つ 【メモ】電源を切った後、2分以内はランプ保護のため電源は入りません。
	フィルターが外れている	➡ フィルターをしっかりとめる
	ランプカバーが外れている	➡ ランプカバーをしっかりとめる
映像が映らない	レンズキャップをはずしていない	➡ レンズキャップを外す
	外部機器との接続ケーブルが正しく接続されていない	➡ 接続を確認する
	入力信号の切り換えが正しくない	➡ INPUT ボタンで正しく選ぶ
	入力信号の設定が正しくない	➡ 信号の設定を入力信号に合わせる MENUボタンを押してメニューを表示→〔初期〕
	映像が消されている	➡ リモコンのHIDEボタンを押して解除する
	コンピューターの外部モニターの設定が正しくない	➡ 外部モニターへの出力信号を適切に設定する（コンピューターの取扱説明書も併せて参照ください）
デジタル接続時（HDMI/DVI）に、黒い表示または砂嵐表示になる	➡ 著作権保護（HDCP）の認証ができなかったため ➡ リモコンのAUTOボタンを押す。またはデジタル接続ケーブルを一度抜き差しする。	
画面が乱れる	➡ 接続ケーブルの接触不良 ➡ 接続ケーブルを端子にしっかりと差し込む	
映像がぼやける	フォーカスが合っていない	➡ FOCUSボタンを押し、ピントを調節する
	本機とスクリーンが直角になっていない	➡ 直角になるように投影角度・向き・設置する、高さを調整する
画面がくもる	➡ 結露が発生している ➡ 結露がなくなるまで、電源を切っておく	
フォーカスやズーム、垂直位置等のレンズ調整ができない	➡ メニューの〔レンズ調整ロック〕がオンになっている ➡ 〔レンズ調整ロック〕をオフにする MENUボタンを押してメニューを表示→〔設置〕→〔レンズ調整ロック〕	
リモコンが正しく動作しない	乾電池が消耗している	➡ 2本とも新しい乾電池に交換する
	リモコン受光部の設定が正しくない	➡ 正しく設定する MENUボタンを押してメニューを表示→〔設置〕→〔リモコン受光部〕
	リモコン受光部の近くに蛍光灯がある	➡ 蛍光灯があたっている受光部を設定からはずす
	リモコンコード切替えスイッチの設定が正しくない	➡ リモコンコード切替えスイッチの設定を〔リモコンID〕の設定にあわせる

症状	原因	対処方法
COVER異常インジケータが点灯する	フィルターがはずれている	⇒ フィルターをしっかりとめる
	ランプカバーが閉まっていない	⇒ ランプカバーをしっかりと閉める
LAMP異常インジケータが点灯または点滅する	ランプの使用時間が2000時間を越えている	⇒ ランプを交換する
	ランプが切れている	⇒ ランプを交換する
TEMP異常インジケータが点灯する	内部が異常に高温になっている	⇒ 吸気口・排気口がふさがれていないか確認する
FAN異常インジケータが点灯する	ファンが故障している	⇒ お買上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点に相談ください

- 本機には、画像の表示のためにDMD™素子が使われています。DMD™素子は高精度技術で製造されており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の無効画素が発生することがあります。DMD™素子の特質上、本機の投影画面に少数の画素（ドット）欠けや常時点灯する画素が見られることがありますが、これは故障ではありません。

メッセージ

メッセージ	状況
入力信号がありません。	入力信号がないとき、または検出できないときに、INPUT ボタンで選んだ入力端子名と同時に表示されます。
INPUT A 〈コンポーネント〉 (例)	INPUT ボタンで選んだ入力端子名が表示されます。信号が入力されると2秒後に消えます。
無効な信号です。	PC系またはHDMI系の信号が入力されていますが、受信できません。
検出できません。	ビデオ系の信号が入力されていますが、受信できません。
自動検出しています。	入力されているRGB信号を検出してその信号に応じた最適な設定をしています。
メモリー1～6 処理中	メモリー設定を選ぶとその番号が表示され、2秒後に消えます。
ランプ交換の推奨時間になりました。新しいランプに交換してください。	ランプの使用時間が2000時間を越えると、電源を入れた際にこのメッセージが表示されます。 ESCAPE ボタンを押して表示を消します。
もう一度押すとスタンバイ状態になります。	もう一度押すとスタンバイ状態になってランプが消えます。
レンズ調整機能はロックされています。	「レンズ調整ロック」がオンの時にV.POS、ZOOM、FOCUS ボタンを押すと表示され、2秒後に消えます。
無効な操作です。	メニュー操作中、無効なボタンが押されたときに、メニュー操作ガイド内にこのメッセージが表示されます。メッセージは2秒後に自動的に消えます。
色温度は固定されています。	色温度固定モード選択時に、△/▽/+/- ボタンを押して色温度を変更しようとする、メニュー操作ガイド内にこのメッセージが表示されます。
お待ちください。	メニュー操作中、切替処理に時間がかかるときに、このメッセージが表示されます。

LED インジケータの状態と原因

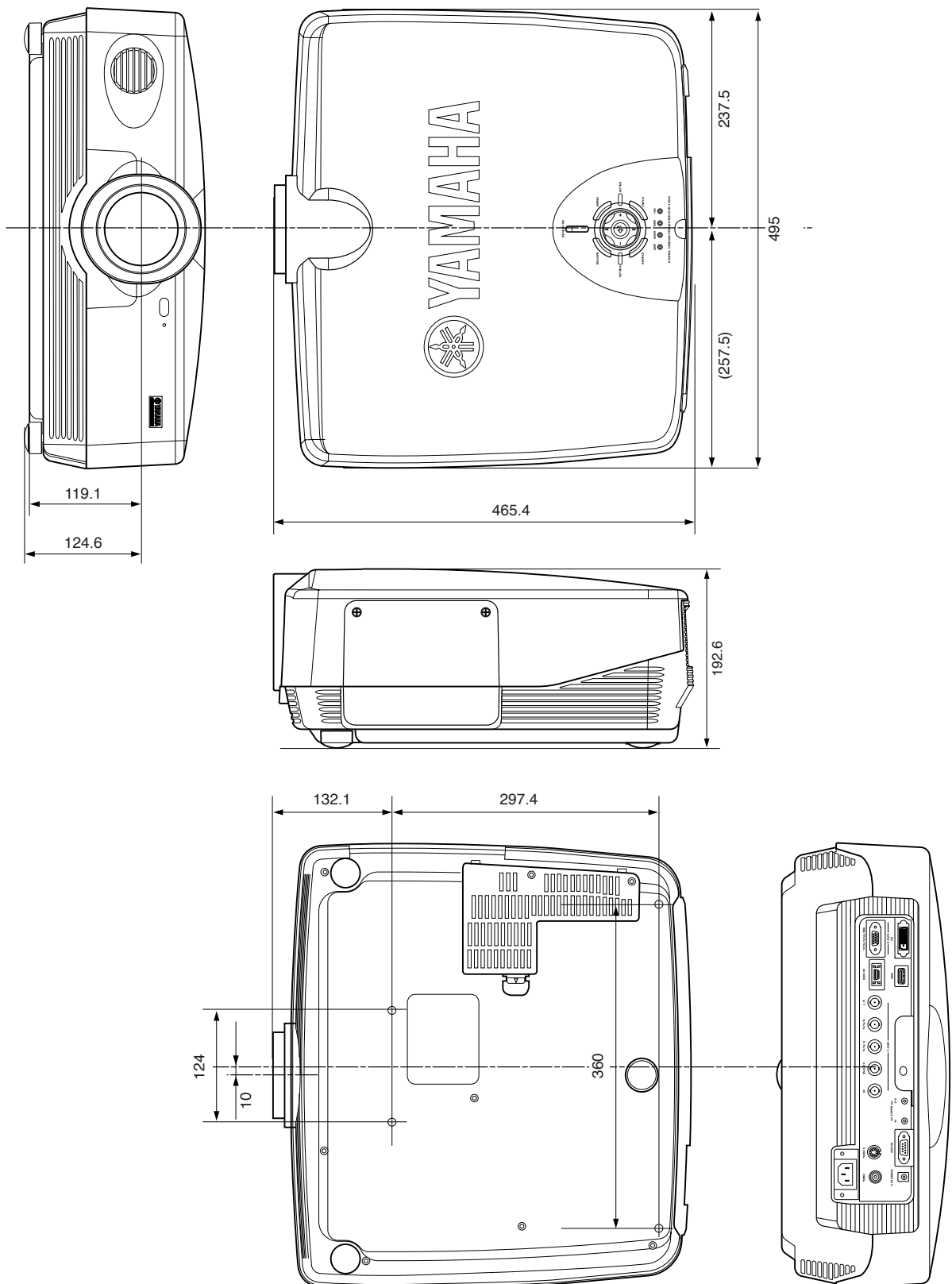
LED インジケータ	状態	原因
STANDBY/ON (*)	消灯	非通電状態
	赤色点灯	スタンバイ状態
	緑色点滅	動作準備中
	緑色点灯	動作状態
	赤色点滅	ランプ冷却中
	赤色点滅または 赤 / 緑色高速点滅	システムエラーの状態 赤色点滅 : LAMP/COVER/TEMP いずれかのエラー 赤 / 緑色高速点滅 : FAN のエラー
LAMP	消灯	正常
	赤色点滅	ランプ使用時間が 2000 時間を越えた場合
	赤色点灯	ランプが切れた場合
COVER	消灯	正常
	赤色点灯	ランプカバーやフィルターカバーの装着が不完全の場合
TEMP	消灯	正常
	赤色点灯	ランプや内部温度が異常な高温になった場合
FAN	消灯	正常
	赤色点灯	冷却用ファンが故障した場合

(*) 本機前面にも表示 LED があります。

仕様

●光学系				
投影方式	DLP™(DMD™)方式、1280 × 720 画素、0.8 inch			
レンズ	f = 24.3 ~ 38.9 mm F = 2.7 ~ 5.0、電動ズーム (1.6 倍)、電動フォーカス、電動レンズシフト			
ランプ	270 W SHP ランプ			
画面サイズ	60 ~ 200 inch (16 : 9)			
明るさ	800 ~ 400 ANSI lm (アイリスによる)			
コントラスト	2500 : 1 ~ 5000 : 1 (アイリスによる)			
●入力				
カラー方式	NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL-M, PAL-N, PAL60			
VIDEO	コンポジット信号	1Vp-p/75 Ω, 同期負極性		
S VIDEO	Sビデオ信号	Y : 1Vp-p/75 Ω, 同期負極性 C : 0.286 又は 0.3Vp-p/75 Ω		
D4 VIDEO	コンポーネント信号	同期付 Y : 1Vp-p/75 Ω, 同期負極性 (480i, 576i, 480p, 576p)		
		同期付 Y : 1Vp-p/75 Ω, 3 値同期 (1035i, 1080i, 720p)		
		P _B /C _B , P _R /C _R : 0.7Vp-p/75 Ω		
INPUT A/INPUT B	コンポーネント信号	同期付 Y : 1Vp-p/75 Ω, 同期負極性 (480i, 576i, 480p, 576p)		
		同期付 Y : 1Vp-p/75 Ω, 3 値同期 (1035i, 1080i, 720p)		
		P _B /C _B , P _R /C _R : 0.7Vp-p/75 Ω		
	RGB 信号	同期付 G : 1Vp-p/75 Ω, 同期負極性 (480i, 576i, 480p, 576p)		
		同期付 G : 1Vp-p/75 Ω, 3 値同期 (1035i, 1080i, 720p)		
		G : 0.7Vp-p/75 Ω (HD/VD 又は SYNC 使用時)		
		B, R : 0.7Vp-p/75 Ω		
		HD, VD : 1 ~ 5Vp-p/2.2k Ω, 正負両極性		
		SYNC : 2Vp-p/2.2k Ω, 同期負極性 (映像信号あり) (480i, 576i)		
		SYNC : 0.6 ~ 5Vp-p/2.2k Ω, 同期負極性 (映像信号なし) (480i, 576i, 480p, 576p)		
		HDMI	デジタルビデオ信号 (RGB/コンポーネント信号)	
		DVI	デジタルビデオ信号 (RGB 信号)	
●制御系				
リモート	RS-232C (D-sub 9 ピン)			
トリガー	パワーオン時+ 12 V/ 最大 200 mA			
ワイヤレスリモコン受光部	前後 2 箇所			
ワイヤードリモコン	入力 1 系統、出力 1 系統			
●一般				
動作温度範囲	5℃ ~ 35℃			
動作湿度範囲	30% ~ 85% (結露しないこと)			
電源	AC100 ~ 120 V/220 ~ 240 V, 50/60 Hz			
消費電力	395 W			
待機時消費電力	0.1 W ~ 0.2W			
騒音レベル	30 dB (標準モード)、28 dB (ランプパワーモードで 80 を選択した時)			
外形寸法	495(W) × 192.6(H) × 465.4(D) mm			
質量	14.0 kg			

寸法図



仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

- ・ 本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」*です。

*JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値（1相当の入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

- ・ 本機がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

■ お客様ご相談センター



0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

受付日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）

受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）

受付時間：月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口

受付日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）

受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50

ヤマハセンター内

FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内

FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2

ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28

オーク江坂ビルディング2F

FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料

故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

